

2008 (平成20) 年3月期  
**中間決算説明会**  
(2007年11月30日)



羽田空港第1旅客ターミナルビル



羽田空港第2旅客ターミナルビル



羽田空港国際線旅客ターミナルビル



**日本空港ビルディング株式会社**

東証1部 (9706)

*Japan Airport Terminal Co., Ltd.*

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>



2008(平成20)年3月期

# 中間決算説明会

1. 2008年3月期 連結中間決算の総括
2. 今後の経営課題

代表取締役社長 鷹城 勲

3. 2008年3月期 連結中間決算の詳細
4. 2008年3月期 連結業績予想の詳細

専務取締役 石黒 正吉



2008(平成20)年3月期

# 中間決算説明会

1. 2008年3月期 連結中間決算の総括
2. 今後の経営課題

代表取締役社長 鷹城 勲

# 1. 2008年3月期 連結中間決算の総括



## (1) 2008年3月期 連結中間業績

### ・ 増収・増益

国内線・国際線とも旅客が前年並みに推移した中、収益面・利益面両面において、前年実績及び予算数値をクリア

収益	696億円	前年比	+34億円	予算比	+18億円
			(+5.2%増)		(+2.8%増)

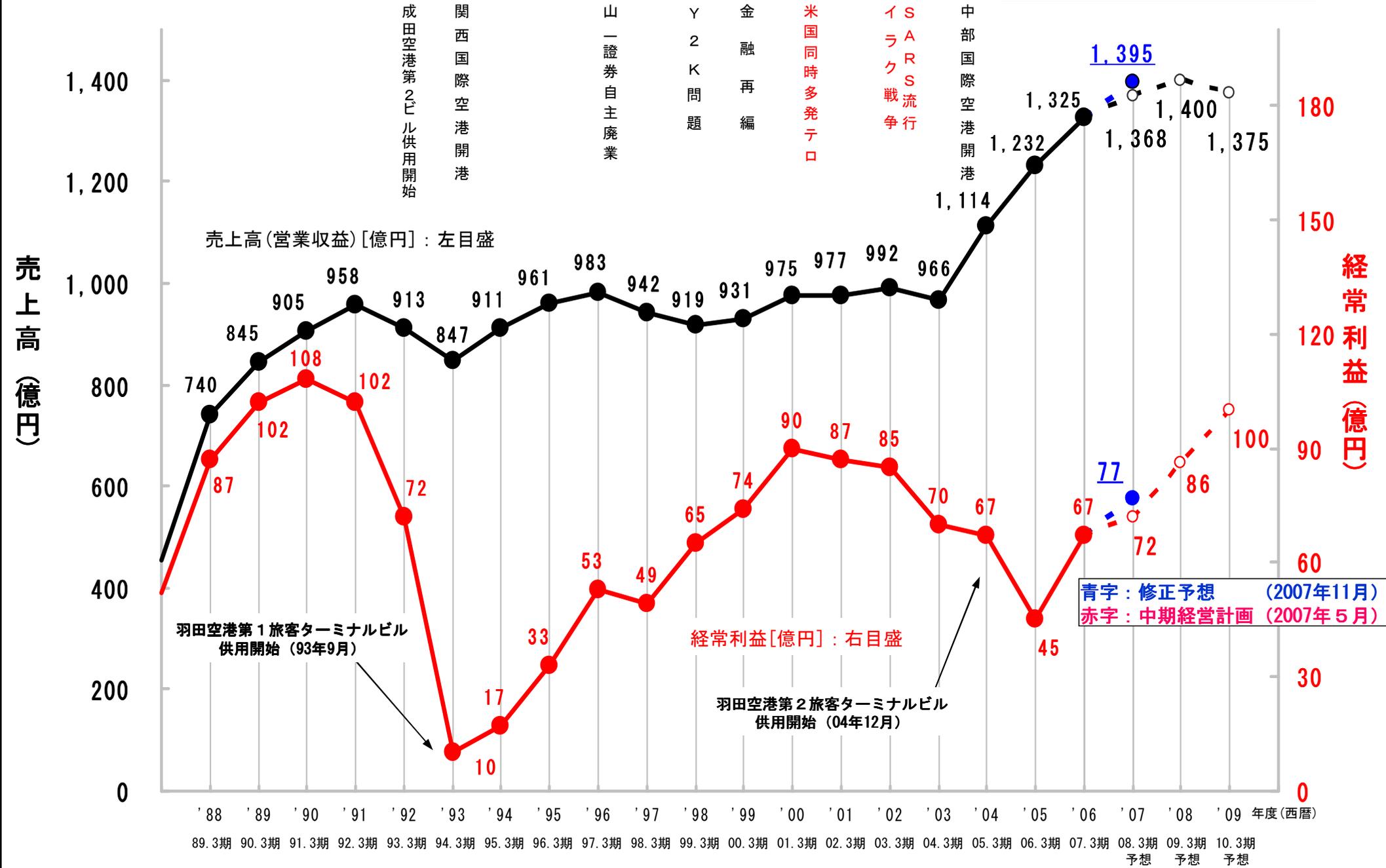
経常利益	44億円	前年比	+5億円	予算比	+5億円
			(+13.8%増)		(+12.9%増)

### ・ 当期のポイント

- ① 羽田空港第2旅客ターミナルビルの5スポット増設工事が完了し、施設利用料収入が増加
- ② 羽田-上海便の就航に対応するため、早めに免税店の増床等を行ったことで、旅客増を大きく上回る増収を実現
- ③ 成田空港における同業他社への卸売、店舗運營業務受託の増加

## (2) 中期経営計画の達成状況

青字：修正予想 (2007年11月)  
 黒字：中期経営計画 (2007年5月)



## 2. 今後の経営課題

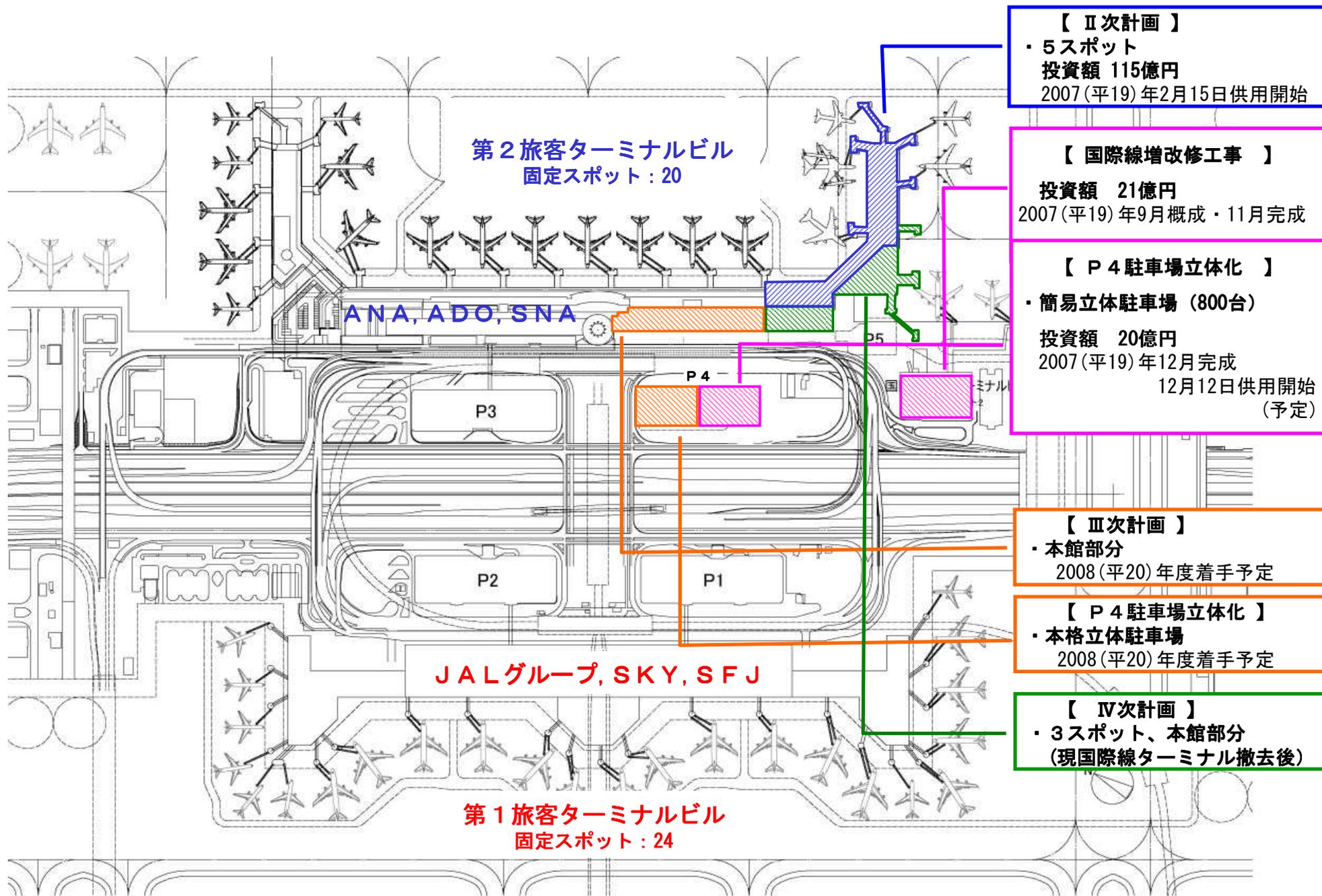


### (1) 事業環境及び実施事項

空 港	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度～
羽 田	羽田－上海（虹橋）間 国際旅客チャーター便就航 （9月29日～）	羽田－北京間 臨時チャーター便 （北京オリンピック）		再拡張事業 ・滑走路事業供用開始 （2010年10月予定） ・新国際線旅客ターミナルビル 供用開始（2010年10月予定）
	特定時間帯（20：30～23：00の出発、6：00～8：30の到着）における国際旅客チャーター便			
	<b>羽田空港再拡張後を見据えた「基盤強化と先行投資」</b>			
	国際線旅客ターミナルビル 増改修工事（チャーター便対応） （9月概成・11月完成）		第2旅客ターミナルビルⅢ次計画 （2008年度着手予定）	第2旅客ターミナルビル Ⅳ次計画
	P4簡易立体駐車場供用開始 （12月12日予定）		P4本格立体駐車場計画 （2008年度着手予定）	
成 田	第2旅客ターミナルビル本館 免税ブランドモールオープン （4月9日～）		平行滑走路延伸 2180mから2500mへ （2010年3月予定）	成田新高速鉄道完成 （2010年4月予定）
	<b>売上構造の変化への対応</b>			
関 西	第2滑走路限定供用開始 （8月2日～）			

注1. 上記チャーター便のスケジュール等につきましては、政府のアジア・ゲートウェイ戦略会議の最終報告や国土交通省資料を元に当社が作成したものであります。

～羽田空港における主要な施設建設について～



## (2) 各セグメント経営課題と対応策

### 施設管理運営業

#### ① 施設の増改修

- ・ 羽田空港 P 4 簡易立体駐車場の完成・供用開始  
(12月12日供用開始予定)



P 4 簡易立体駐車場完成イメージ図  
(駐車可能台数 約800台)

- ・ 羽田空港第2旅客ターミナルビルⅢ次計画及び  
P 4 本格立体駐車場計画の推進 (2008年度着手予定)

#### ② 空室対策

#### ③ 省エネ対策

## 物品販売業

### ① 集客力の向上

- ・ 店づくり

#### 羽田空港第1旅客ターミナルビル物販店舗の改装リニューアル



ポートベニール  
(11月1日オープン)



エアローソン  
(12月上旬オープン予定)

#### 羽田空港第2旅客ターミナルビルⅢ次計画に伴う店舗展開

#### 成田空港第2旅客ターミナルビル免税店の改装リニューアル (本館店)

- ・ 外国人旅客の囲い込みの強化 (急増する中国人旅客対応)
- ・ インターネットを活用した免税品事前予約受付サービスの強化

### ② 品揃えの充実

- ・ 新規ブランドの導入
- ・ オリジナル商品 (空スイーツ等) の展開



タレントとのコラボレーション  
による空スイーツの展開  
(10月1日～)

### ③ 卸売の拡大・店舗運営業務の受託

- ・ 有名ブランドとの関係強化 (海外店への派遣の維持)
- ・ 販売員の資質の向上

### ④ 店舗運営業務の改善

- ・ 専門的かつ効率的な店舗運営業務の推進

## 飲食業

### ① 飲食店舗

#### ・売上増進

フランチャイズ店舗の売上増進

季節感のあるメニューでのキャンペーン展開

「味わい冬紀行」

(11月20日～1月15日)



#### ・食材費をはじめとする費用削減及び店舗運営の効率化

### ② 機内食

#### ・価格競争力の維持強化

#### ・エアバス380就航への対応

#### ・新規顧客の獲得

#### ・ISOの取得

### ③ 共通の課題：食の安全への取り組みの徹底

## 全社共通

### ～人材育成の推進～

#### ・事業環境の変化

#### 羽田空港・成田空港

2007年4月 成田空港第2旅客ターミナルビル本館免税ブランドモール  
オープン

2007年9月 羽田空港 上海（虹橋）便就航

2010年10月 羽田空港再拡張に伴い、近距離国際旅客定期便就航予定



- ・旅客分散と他社免税店等との競争激化
- ・成田空港に次ぐ、首都圏の国際ゲートウェイ機能、  
国際都市に相応しい国際交流機能としての重要性が向上



環境変化への対応、さらなる販売・サービス力の向上

人材育成の推進 → 人的資源における競争力の向上

- ① 海外ブランドメーカー現地店舗、金融機関海外駐在員事務所、  
航空会社及び国内外空港会社への若手社員の出向・派遣など
- ② 社外有識者による「人間塾」開催→幅広い知識習得  
バランスのとれた人材育成
- ③ 語学研修の強化（語学研修教室開設）



2008(平成20)年3月期

# 中間決算説明会

- 3. 2008年3月期 連結中間決算の詳細
- 4. 2008年3月期 連結業績予想の詳細

専務取締役

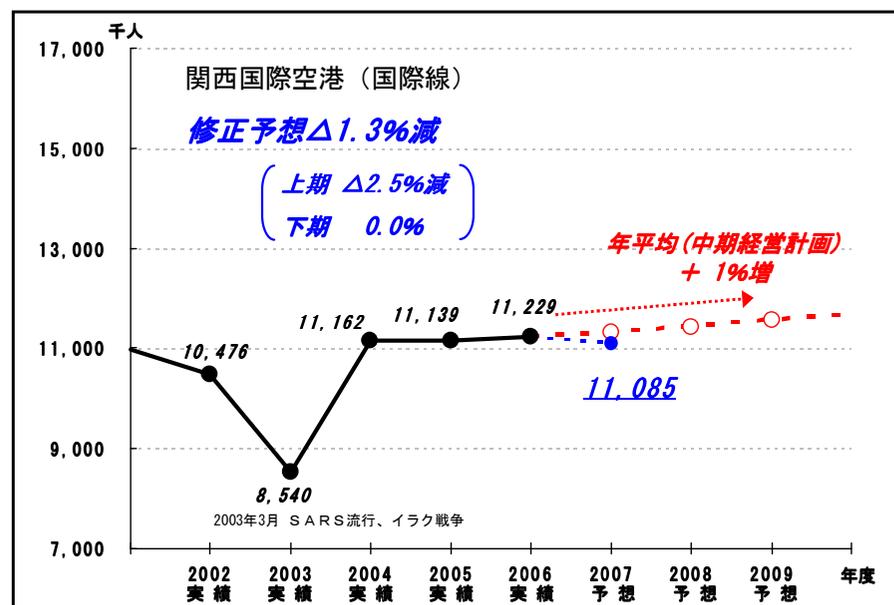
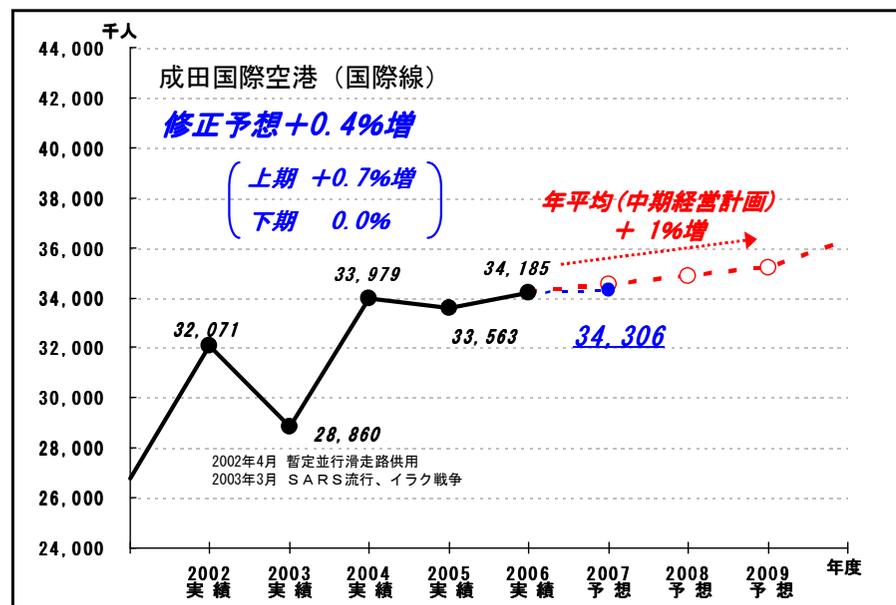
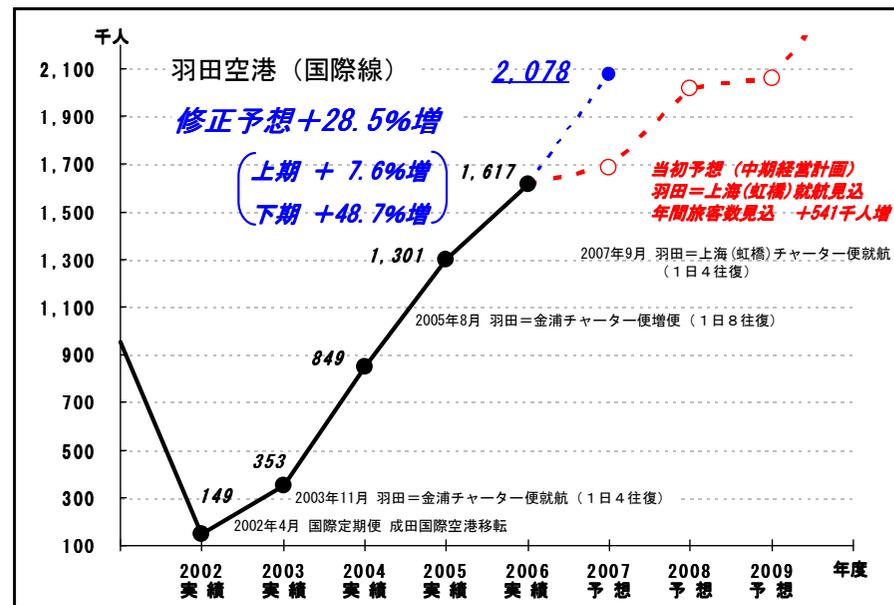
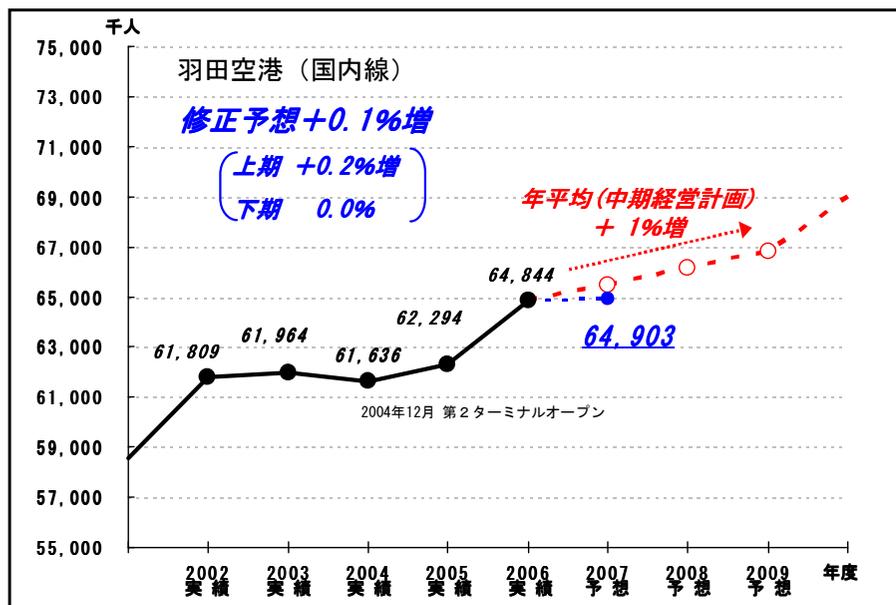
石黒 正吉

# 3. 2008年3月期 連結中間決算の詳細



## (1) 航空旅客数の推移 (羽田・成田・関西)

青字：修正予想 (2007年11月)  
赤字：中期経営計画 (2007年5月)



※旅客数：実績 国土交通省、成田国際空港株式会社及び関西国際空港株式会社公表値

## (2) 2008年3月期 連結中間業績

区 分	2007.9期 (実績)		2006.9期 (実績)		増減額	増減率	当初予想 (2007.5)		差異
	百万円	比率 %	百万円	比率 %			百万円	比率 %	
売上高	69,695	100.0	66,246	100.0	3,448	5.2	67,800	100.0	1,895
施設管理運營業	18,841	27.0	18,080	27.3	761	4.2	18,450	27.2	391
物品販売業	42,959	61.7	40,322	60.9	2,636	6.5	41,450	61.1	1,509
飲食業	7,894	11.3	7,843	11.8	50	0.6	7,900	11.7	△ 5
売上原価	35,212	50.5	32,863	49.6	2,348	7.1	33,900	50.0	1,312
商品売上原価	31,289	44.9	29,237	44.1	2,051	7.0	30,300	44.7	989
(商品売上原価率)	(72.8%)		(72.5%)		(0.3P)		(73.1%)		(△0.3P)
飲食売上原価	3,923	5.6	3,626	5.5	297	8.2	3,600	5.3	323
(飲食売上原価率)	(49.7%)		(46.2%)		(3.5P)		(45.6%)		(4.1P)
売上総利益	34,482	49.5	33,382	50.4	1,099	3.3	33,900	50.0	582
販売費及び一般管理費	30,028	43.1	29,517	44.6	511	1.7	29,800	44.0	228
営業利益	4,454	6.4	3,865	5.8	588	15.2	4,100	6.0	354
営業外損益	△ 51	△ 0.1	1	0.0	△ 53	-	△ 200	△ 0.3	148
経常利益	4,403	6.3	3,867	5.8	535	13.8	3,900	5.8	503
中間純利益	2,185	3.1	1,796	2.7	389	21.7	2,000	2.9	185

※ 商品売上原価率：商品売上原価／物品販売業売上高  
飲食売上原価率：飲食売上原価／飲食業売上高

### (3) セグメント別

#### ① 施設管理運営業

項 目	2007.9期 (実績)		2006.9期 (実績)		増減額	増減率	当初予想 (2007.5)		差 異
	百万円	比率	百万円	比率			百万円	比率	
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
家賃収入	7,052	35.4	6,912	36.1	139	2.0	7,000	35.8	52
施設利用料収入	7,717	38.7	7,151	37.4	566	7.9	7,600	38.9	117
その他の収入	4,072	20.4	4,016	21.0	55	1.4	3,850	19.7	222
計	18,841	94.5	18,080	94.5	761	4.2	18,450	94.4	391
セグメント間の内部売上高	1,103	5.5	1,061	5.5	42	4.0	1,100	5.6	3
合 計	19,945	100.0	19,141	100.0	803	4.2	19,550	100.0	395
営業費用	18,832	94.4	18,256	95.4	576	3.2	18,200	93.1	632
営業利益	1,112	5.6	884	4.6	227	25.7	1,350	6.9	△ 237
(営業利益率)	( 5.6%)		( 4.6%)		( 1.0P)		( 6.9%)		(△ 1.3P)

※ 羽田国内線旅客数 対前期比 0.2%増

- ・家賃収入・施設利用料収入 : 第2ビル5スポット増築 + 5億円  
第1ビル(航空会社の入居等)、国際線ビル(旅客数増加に伴うP S F Cの増加) + 2億円
- ・営業費用 : 修繕費(国際線ビル増改修・撤去工事等) + 3億円  
減価償却費 + 2億円(第2ビル + 3億円、第1ビル外 △ 1億円)

## (3) セグメント別

## ② 物品販売業

項 目	2007.9期 (実績)		2006.9期 (実績)		増減額		増減率		当初予想 (2007.5)		差異
	百万円	比率	百万円	比率	百万円	%	百万円	%	百万円		
外部顧客に対する売上高											
国内線売店	17,124	39.5	17,281	42.5	△ 156	△ 0.9	17,700	42.3	△ 575		
国際線売店	10,857	25.1	11,853	29.2	△ 996	△ 8.4	9,850	23.6	1,007		
その他の売上	14,977	34.6	11,187	27.5	3,789	33.9	13,900	33.3	1,077		
計	42,959	99.2	40,322	99.2	2,636	6.5	41,450	99.2	1,509		
セグメント間の内部売上高	347	0.8	330	0.8	17	5.2	350	0.8	△ 2		
合計	43,306	100.0	40,653	100.0	2,653	6.5	41,800	100.0	1,506		
営業費用	38,737	89.4	36,546	89.9	2,191	6.0	37,900	90.7	837		
営業利益	4,569	10.6	4,106	10.1	462	11.3	3,900	9.3	669		
(営業利益率)	(10.6%)		(10.1%)		(0.5P)		(9.3%)		(1.3P)		

- ・国内線売店 : 羽田 エアポートマート(ローソン)の運営形態変更等の売上減 △ 2億円
- ・国際線売店 : 羽田 日韓チャーター便旅客増+免税店増床・改装効果 + 6億円  
成田 第1ビル南ウイング供用+第2ビル本館「ナリタ5番街」オープン △ 16億円
- ・その他の売上 : N A Aリテイリング等への卸売上増(空港ビル) + 30億円  
成田第1ビル南ウイング「narita nakamise」(2006年6月)  
成田第2ビル本館「ナリタ5番街」(2007年4月)  
成田空港・福岡空港等への卸売上増(国際協商) + 7億円

## (3) セグメント別

## ③ 飲食業

項目	2007.9期 (実績)		2006.9期 (実績)		増減額		増減率		当初予想 (2007.5)		差異
	百万円	比率	百万円	比率	百万円				百万円	比率	
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円				百万円	%	百万円
飲食店舗売上	4,886	54.8	4,803	56.1	82		1.7	4,900	56.0	△ 13	
機内食売上	2,599	29.2	2,623	30.7	△ 24	△	0.9	2,500	28.6	99	
その他の売上	408	4.6	416	4.9	△ 7	△	1.9	500	5.7	△ 91	
計	7,894	88.6	7,843	91.7	50		0.6	7,900	90.3	△ 5	
セグメント間の内部売上高	1,015	11.4	706	8.3	309		43.8	850	9.7	165	
合計	8,909	100.0	8,549	100.0	359		4.2	8,750	100.0	159	
営業費用	8,589	96.4	8,234	96.3	355		4.3	8,400	96.0	189	
営業利益	319	3.6	315	3.7	4		1.4	350	4.0	△ 30	
(営業利益率)	( 3.6%)		( 3.7%)		(△ 0.1P)			( 4.0%)		(△ 0.4P)	

・ 飲食店舗売上 : 弁当の卸売・販売やフランチャイズ契約店舗の展開

・ 機内食売上 : 顧客航空会社の減便による機内食提供数の減少

## (4) 販売費及び一般管理費の内訳

科 目	2007.9期 (実績)		2006.9期 (実績)		増減額		増減率	
	百万円	比率 %	百万円	比率 %	百万円		%	
売 上 高	69,695	100.0	66,246	100.0	3,448		5.2	
販売費及び一般管理費	30,028	43.1	29,517	44.6	511		1.7	
人 件 費	8,022	11.5	7,719	11.7	302		3.9	
従 業 員 給 与	3,332	4.8	3,078	4.6	253		8.2	
臨 時 給 料	1,508	2.2	1,540	2.3	△ 31		△ 2.0	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,013	1.5	990	1.5	23		2.3	
法 定 福 利 費	991	1.4	958	1.4	32		3.4	
退 職 給 付 費 用	352	0.5	370	0.6	△ 18		△ 4.9	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	118	0.2	123	0.2	△ 4		△ 3.7	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	94	0.1	86	0.1	8		9.5	
そ の 他	609	0.9	570	0.9	38		6.8	
物 件 費	14,716	21.1	14,690	22.2	25		0.2	
備 品 費	72	0.1	68	0.1	4		6.3	
水 道 光 熱 費	2,147	3.1	2,062	3.1	84		4.1	
賃 借 料	4,190	6.0	4,711	7.1	△ 521		△ 11.1	
(うち国有財産使用料)	(1,711)	(2.5)	(1,855)	(2.8)	(△ 143)		(△ 7.8)	
租 税 公 課	1,109	1.6	1,135	1.7	△ 26		△ 2.3	
清 掃 費	92	0.1	96	0.1	△ 4		△ 4.4	
業 務 委 託 費	3,703	5.3	3,556	5.4	146		4.1	
修 繕 費	1,695	2.4	1,432	2.2	262		18.3	
そ の 他	1,706	2.4	1,626	2.5	79		4.9	
減 価 償 却 費	7,289	10.5	7,106	10.7	182		2.6	

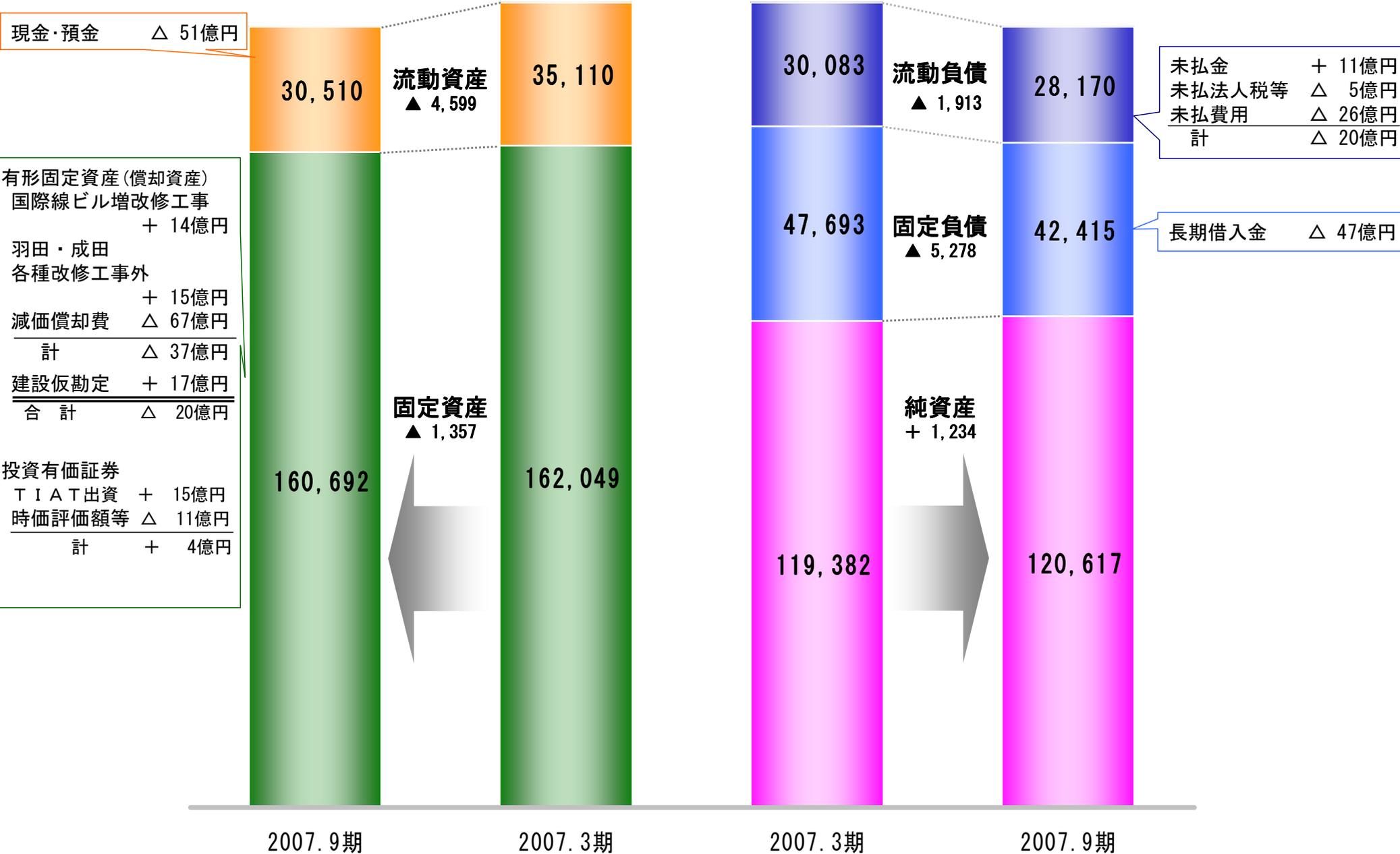
## (5) 営業外損益と特別損益

科 目	2007.9期 (実績)		2006.9期 (実績)		増減額	増減率
	百万円	比率 %	百万円	比率 %		
売上高	69,695	100.0	66,246	100.0	3,448	5.2
営業利益	4,454	6.4	3,865	5.8	588	15.2
営業外収益	724	1.0	621	0.9	103	16.7
受取利息・配当金	112	0.2	92	0.1	20	21.6
その他	612	0.9	528	0.8	83	15.8
営業外費用	776	1.1	619	0.9	156	25.3
支払利息	488	0.7	534	0.8	△ 46	△ 8.7
持分法による投資損失	66	0.1	31	0.0	34	110.4
その他	221	0.3	52	0.1	168	318.6
経常利益	4,403	6.3	3,867	5.8	535	13.8
特別利益	109	0.2	-	-	109	-
特別損失	8	-	298	0.5	△ 289	-
中間純利益	2,185	3.1	1,796	2.7	389	21.7

- ・営業外収益 : 羽田第2ビルCゲート工事負担金
- ・営業外費用 : 羽田飲食店舗及び物販店舗固定資産除却損
- ・特別利益 : 羽田第2ビル増築部分不動産取得税戻入
- ・特別損失 : 前年度羽田社宅固定資産除却損

# (6) 連結貸借対照表

(単位：百万円)



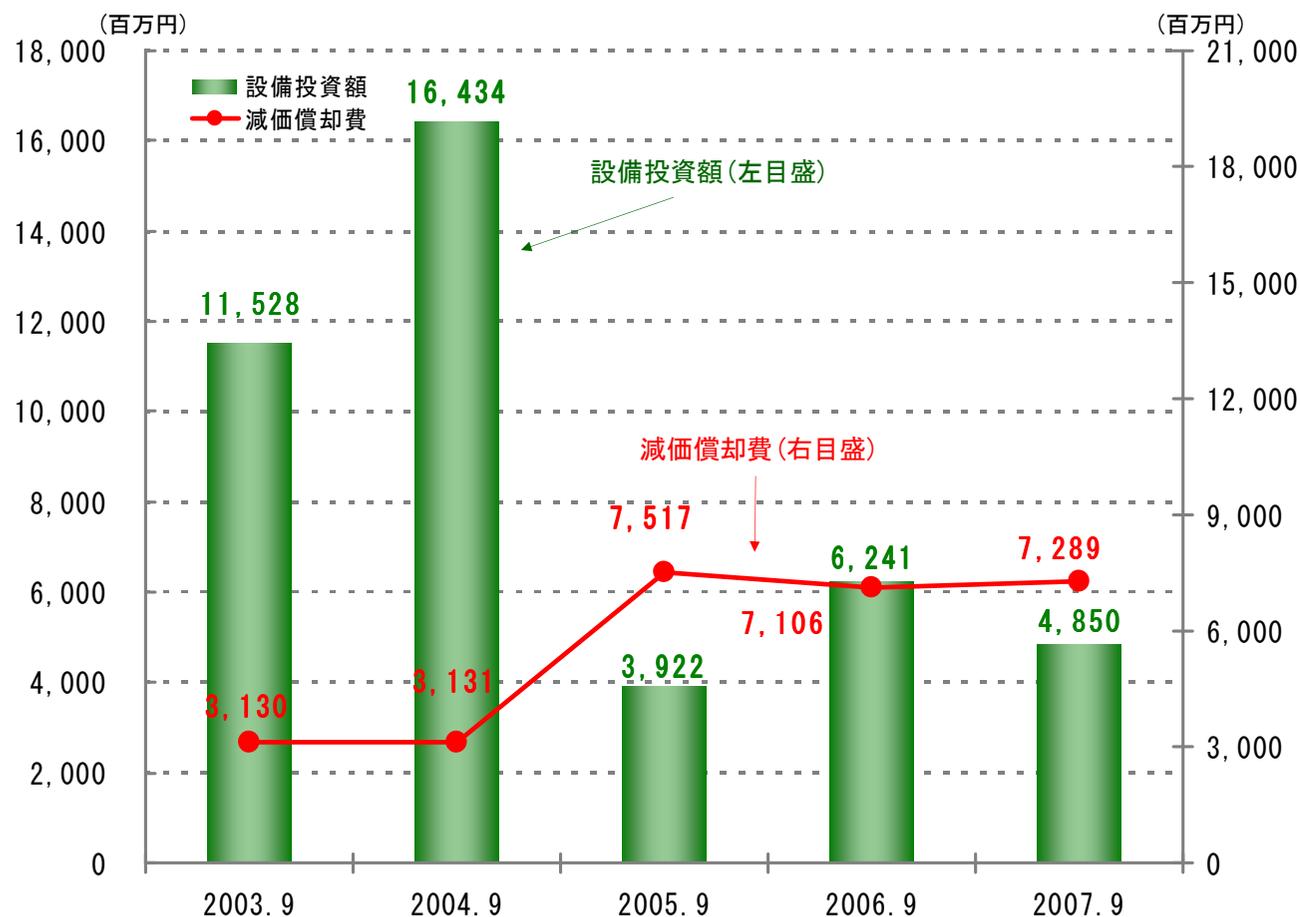
注：百万円未満は切捨処理しております。

## (7) 連結キャッシュ・フロー

科 目	2007.9期 (実績)	2006.9期 (実績)	増減額
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,336	10,770	△ 3,434
税金等調整前中間純利益	4,503	3,569	934
減価償却費	7,297	7,121	176
未払費用等の増減額	△ 1,155	1,196	△ 2,351
法人税等の支払額	△ 2,719	△ 1,036	△ 1,683
その他	△ 590	△ 79	△ 510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,538	△ 10,207	3,668
有価証券の売却	1,998	-	1,998
有形固定資産の取得	△ 5,269	△ 6,982	1,713
その他	△ 3,267	△ 3,224	△ 42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,340	2,821	△ 8,161
長期借入金	-	7,000	△ 7,000
長期借入金の返済	△ 4,800	△ 3,639	△ 1,160
その他	△ 539	△ 539	△ 0
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,542	3,384	△ 7,927
現金及び現金同等物の期首残高	18,796	13,238	5,557
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	100	-	100
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,353	16,623	△ 2,270

## (8) 設備投資と減価償却費

科 目	2003.9期 (実績)	2004.9期 (実績)	2005.9期 (実績)	2006.9期 (実績)	2007.9期 (実績)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
設備投資額	11,528	16,434	3,922	6,241	4,850
減価償却費	3,130	3,131	7,517	7,106	7,289



## ・設備投資額

- 国際線増改修工事(上海便対応) 17億円
- P4簡易  
立体駐車場新築工事 12億円
- 第1ビル各所改修工事 5億円

## ・減価償却費

- 第1ビル 26億円
- 第2ビル 33億円
- 国際線ビル 3億円

# 4. 2008年3月期 連結業績予想の詳細



## (1) 2008年3月期 連結業績予想

区 分	2008. 3期 (修正予想)		2007. 3期 (実績)		増減額	増減率	当初予想 (2007. 5)		差異
	百万円	比率	百万円	比率			百万円	比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
売上高	139,500	100.0	132,518	100.0	6,981	5.3	136,800	100.0	2,700
施設管理運営業	38,000	27.2	36,651	27.7	1,348	3.7	37,300	27.3	700
物品販売業	85,900	61.6	80,364	60.6	5,535	6.9	83,800	61.2	2,100
飲食業	15,600	11.2	15,502	11.7	97	0.6	15,700	11.5	△ 100
売上原価	70,000	50.2	65,719	49.6	4,280	6.5	68,300	49.9	1,700
商品売上原価	62,400	44.8	58,382	44.1	4,017	6.9	61,100	44.7	1,300
(商品売上原価率)	(72.6%)		(72.6%)		(-)		(72.9%)		(△ 0.3P)
飲食売上原価	7,600	5.4	7,336	5.5	263	3.6	7,200	5.2	400
(飲食売上原価率)	(48.7%)		(47.3%)		(1.4P)		(45.9%)		(2.8P)
売上総利益	69,500	49.8	66,799	50.4	2,700	4.0	68,500	50.1	1,000
販売費及び一般管理費	61,600	44.2	59,743	45.1	1,856	3.1	60,900	44.5	700
営業利益	7,900	5.7	7,055	5.3	844	12.0	7,600	5.6	300
営業外損益	△ 200	△ 0.1	△ 307	△ 0.2	107	-	△ 400	△ 0.3	200
経常利益	7,700	5.5	6,747	5.1	952	14.1	7,200	5.3	500
当期純利益	4,000	2.9	2,482	1.9	1,517	61.1	3,700	2.7	300

※ 前提条件：旅客数見通し

羽田・国内線	通期	+ 0.1%	(当初予想	+ 1.0%)
羽田・国際線	通期	+28.5%	(当初予想	+ 4.4%)
成田・国際線	通期	+ 0.4%	(当初予想	+ 1.0%)
関空・国際線	通期	△ 1.3%	(当初予想	+ 1.0%)

※ 商品売上原価率：商品売上原価／物品販売業売上高  
 飲食売上原価率：飲食売上原価／飲食業売上高

## (2) セグメント別

## ① 施設管理運営業

項 目	2008. 3期 ( 修正予想 )		2007. 3期 ( 実績 )		増減額		増減率		当初予想 (2007. 5)		差 異
	百万円	比率	百万円	比率	百万円				百万円	比率	
外部顧客に対する売上高											
家賃収入	14,100	35.1	13,873	35.8	226		1.6		14,100	35.7	-
施設利用料収入	15,800	39.3	14,476	37.3	1,323		9.1		15,400	39.0	400
その他の収入	8,100	20.1	8,301	21.4	△ 201	△	2.4		7,800	19.7	300
計	38,000	94.5	36,651	94.5	1,348		3.7		37,300	94.4	700
セグメント間の内部売上高	2,200	5.5	2,146	5.5	53		2.5		2,200	5.6	-
合計	40,200	100.0	38,797	100.0	1,402		3.6		39,500	100.0	700
営業費用	38,500	95.8	37,430	96.5	1,069		2.9		37,500	94.9	1,000
営業利益	1,700	4.2	1,366	3.5	333		24.4		2,000	5.1	△ 300
(営業利益率)	( 4.2%)		( 3.5%)		( 0.7P)				( 5.1%)		(△ 0.9P)

- ・家賃収入、施設利用料収入 : 第2ビル5スポット増築通年稼働 + 9億円  
国際線ビル(上海便就航に伴うPSFCの増加) + 4億円
- ・その他の収入 : 請負工事減 △ 5億円、広告・ラウンジ収入増 + 3億円
- ・営業費用 : 減価償却費 + 6億円  
(第1ビル △ 3億円、第2ビル + 3億円、国際線ビル + 4億円、P4駐車場他 + 2億円)

## (2) セグメント別

### ② 物品販売業

項 目	2008. 3期 ( 修正予想 )		2007. 3期 ( 実績 )		増減額		増減率		当初予想 (2007. 5)		差 異
	百万円	比率	百万円	比率	百万円				百万円	比率	
外部顧客に対する売上高											
国内線売店	34,000	39.2	34,454	42.5	△ 454	△ 1.3			35,200	41.7	△ 1,200
国際線売店	22,200	25.6	22,655	27.9	△ 455	△ 2.0			20,400	24.1	1,800
その他の売上	29,700	34.4	23,254	28.7	6,445	27.7			28,200	33.4	1,500
計	85,900	99.2	80,364	99.1	5,535	6.9			83,800	99.2	2,100
セグメント間の内部売上高	700	0.8	713	0.9	△ 13	△ 1.9			700	0.8	-
合 計	86,600	100.0	81,078	100.0	5,521	6.8			84,500	100.0	2,100
営業費用	77,600	89.6	73,066	90.1	4,533	6.2			76,500	90.5	1,100
営業利益	9,000	10.4	8,012	9.9	987	12.3			8,000	9.5	1,000
(営業利益率)	( 10.4%)		( 9.9%)		( 0.5P)				( 9.5%)		( 0.9P)

- ・国内線売店 : 羽田 エアポートマート(ローソン)の改装による一時閉鎖及び運営形態変更等の売上減 △ 4億円
- ・国際線売店 : 羽田 日韓チャーター便旅客増、上海便就航による旅客増 + 16億円  
成田 第2ビル本館「ナリタ5番街」等の影響 △ 20億円
- ・その他の売上 : 成田 第2ビル「ナリタ5番街」等への卸売上や店舗運営受託料収入増加等 + 64億円

## (2) セグメント別

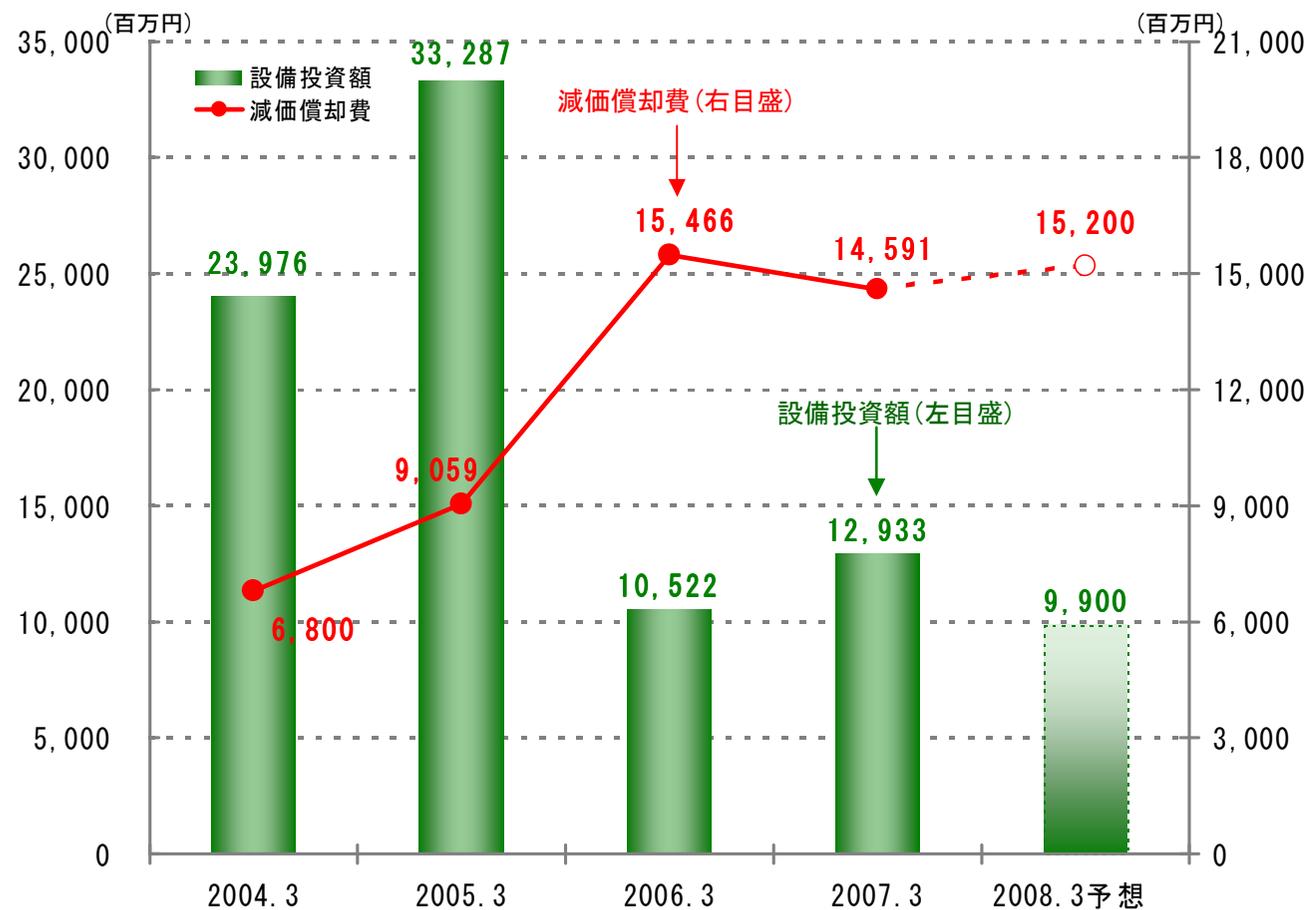
## ③ 飲食業

項 目	2008.3期 (修正予想)		2007.3期 (実績)		増減額	増減率	当初予想 (2007.5)		差 異
	百万円	比率	百万円	比率			百万円	比率	
外部顧客に対する売上高	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
飲食店舗売上	9,700	55.4	9,487	55.3	212	2.2	9,700	55.7	-
機内食売上	5,100	29.1	5,106	29.8	△ 6	△ 0.1	5,000	28.7	100
その他の売上	800	4.6	908	5.3	△ 108	△ 12.0	1,000	5.8	△ 200
計	15,600	89.1	15,502	90.4	97	0.6	15,700	90.2	△ 100
セグメント間の内部売上高	1,900	10.9	1,641	9.6	258	15.8	1,700	9.8	200
合 計	17,500	100.0	17,144	100.0	355	2.1	17,400	100.0	100
営業費用	17,000	97.1	16,605	96.9	394	2.4	16,800	96.6	200
営業利益	500	2.9	538	3.1	△ 38	△ 7.2	600	3.4	△ 100
(営業利益率)	( 2.9%)		( 3.1%)		(△ 0.2P)		( 3.4%)		(△ 0.5P)

- ・ 飲食店舗売上 : 弁当の卸売・販売やフランチャイズ契約店舗の展開
- ・ 機内食売上 : 海外航空会社の単価値下げや値引等
- ・ その他の売上 : 冷凍食品の売上減少

## (3) 設備投資と減価償却費

科 目	2004.3期 (実績)	2005.3期 (実績)	2006.3期 (実績)	2007.3期 (実績)	2008.3期 (予想)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
設備投資額	23,976	33,287	10,522	12,933	9,900
減価償却費	6,800	9,059	15,466	14,591	15,200



## ・ 設備投資額

- 国際線増改修工事(上海便対応) 21億円
- P4簡易立体駐車場新築工事 20億円
- 社有地有効活用 26億円

## ・ 減価償却費

- 第1ビル 54億円
- 第2ビル 64億円
- 国際線ビル 9億円

## (4) 中期経営計画(2007年度～2009年度)

上段(青字) : 修正予想 (2007年11月)

下段 赤字 : 中期経営計画(2007年5月)

	2004.3期 (2003年度) (平成15年度)	2005.3期 (2004年度) (平成16年度)	2006.3期 (2005年度) (平成17年度)	2007.3期 (2006年度) (平成18年度)	2008.3期 (2007年度) (平成19年度)	2009.3期 (2008年度) (平成20年度)	2010.3期 (2009年度) (平成21年度)
	億円						
売上高	966	1,114	1,232	1,325	1,395 1,368	1,400	1,375
施設管理運営業	256	303	351	366	380 373	379	381
物品販売業	574	665	731	803	859 838	860	830
飲食業	135	145	149	155	156 157	161	164
営業利益	70	66	50	70	79 76	88	102
経常利益 (経常利益率)	70 (7.3%)	67 (6.0%)	45 (3.7%)	67 (5.1%)	77 72 (5.5%) (5.3%)	86 (6.1%)	100 (7.3%)
設備投資額	239	332	105	129	99 103	110	160
減価償却費	68	90	154	145	152 149	137	117

※ 前提条件

注：億円未満は切捨処理しております。

## ・修正予想(2007年11月)

国内線航空旅客数(羽田)年計0.1%増見込む

国際線航空旅客数(成田)年計0.4%増見込む

## ・中期経営計画(2007年5月)

国内線航空旅客数(羽田)年平均1.0%増見込む

国際線航空旅客数(成田)年平均1.0%増見込む

(設備投資計画) 2008年3月期 羽田空港 国際線増改修工事(上海便対応)

羽田空港 P4簡易立体駐車場新築工事

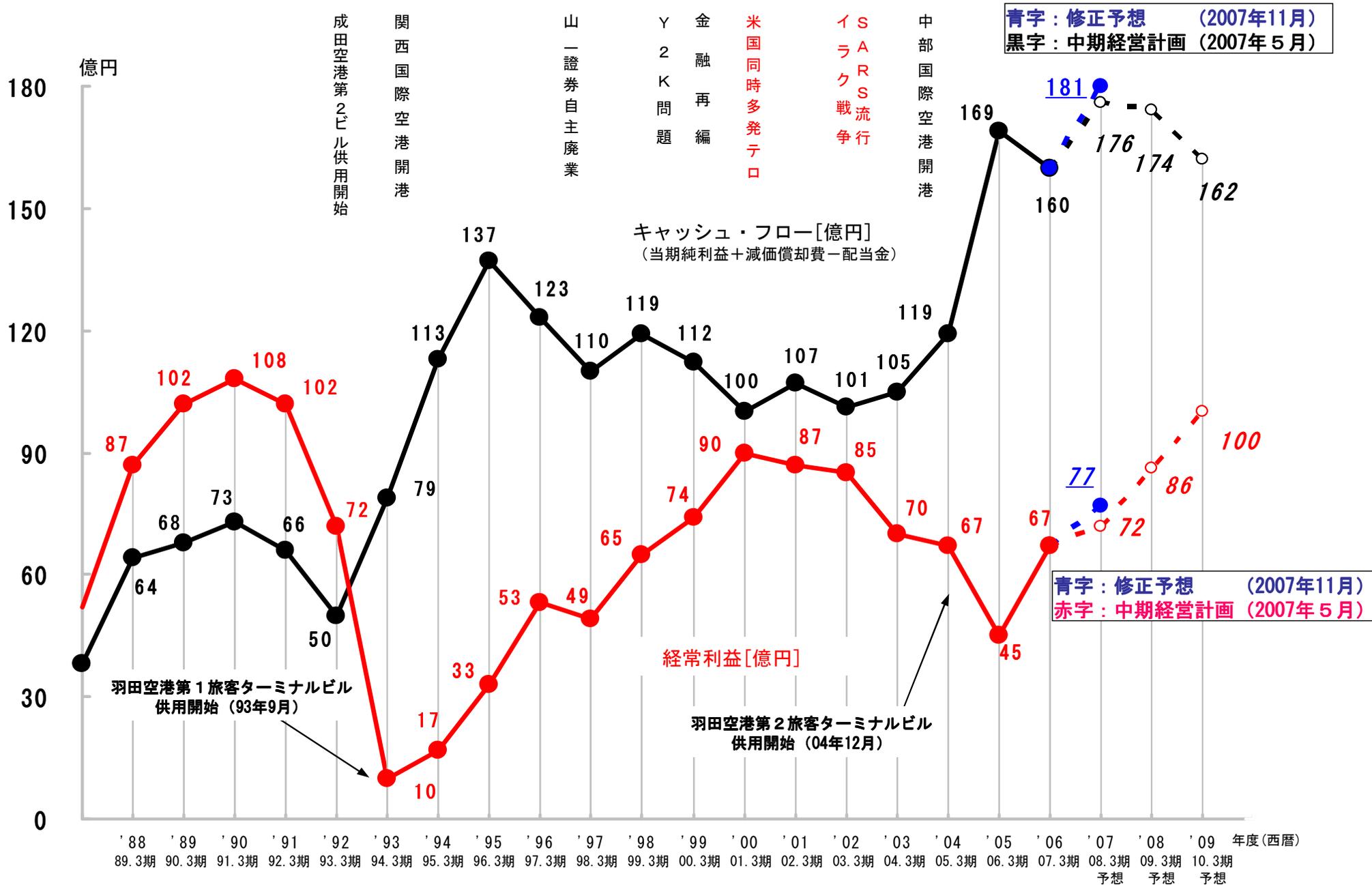
2009年3月期 羽田空港 第2旅客ターミナルビル本館増築計画(Ⅲ次計画)

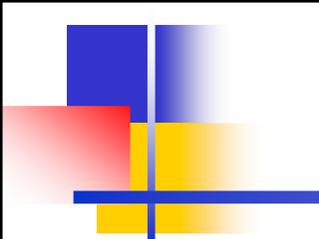
羽田空港 P4本格立体駐車場新築計画

2010年3月期 羽田空港 第2旅客ターミナルビル本館増築計画(Ⅲ次計画)

羽田空港 P4本格立体駐車場新築計画

### (5) キャッシュ・フローの推移





2008 (平成20) 年3月期  
**中間決算説明会**  
(2007年11月30日)



羽田空港第1旅客ターミナルビル



羽田空港第2旅客ターミナルビル



羽田空港国際線旅客ターミナルビル



**日本空港ビルディング株式会社**

東証1部 (9706)

*Japan Airport Terminal Co., Ltd.*

<http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/>



[ 2008年3月期 中間決算説明会 ]

# 参 考 資 料

- I. 当社の事業概要と特性
- II. 東京国際空港再拡張事業への取組み
- III. 国内線・国際線航空旅客数の推移
- IV. 月別売上高推移（物販・飲食）

# I. 当社の事業概要と特性



## (1) 空港における当社の位置づけ

空 港 名	羽田空港 (東京国際空港)	成田空港 (成田国際空港)	関西空港 (関西国際空港)	中部空港 (中部国際空港)	※ 参考 伊丹空港 (大阪国際空港)
設 置 者	国 (国土交通大臣)	成田国際空港 株式会社	関西国際空港 株式会社	中部国際空港 株式会社	国 (国土交通大臣)
管 理 者					
空 港 施 設 (基本施設) 滑 走 路 誘 導 路 エ プ ロ ン	国 (国土交通大臣)	成田国際空港 株式会社	関西国際空港 株式会社	中部国際空港 株式会社	国 (国土交通大臣)
管 制 施 設	国 (国土交通大臣)				
旅客ターミナルビル	当 社	成田国際空港 株式会社	関西国際空港 株式会社	中部国際空港 株式会社	大阪国際空港 ターミナル(株)
株主構成	民間企業・その他 100%	国 100%	国 66% 地方自治体 22% 民間企業・その他 12%	民間企業・その他 50% 国 40% 地方自治体 10%	地方自治体 50% 民間企業・その他 50%

### (参考) 基本的な旅客ターミナルビル会社の位置づけ

#### ・インフラの担い手

土 地：国、地方公共団体、成田・関空・中部の各空港会社が整備・所有

エプロン：国、地方公共団体、成田・関空・中部の各空港会社が整備・所有

滑 走 路：国、地方公共団体、成田・関空・中部の各空港会社が整備・所有

**旅客ターミナルビル：民間企業、第3セクター、空港会社等が建設・所有、管理運営**

貨物ターミナルビル：民間企業、第3セクター、空港会社等が建設・所有、管理運営

整 備 場：民間企業、航空会社等が建設・所有、管理

#### ・航空会社との関係

チェックインカウンター、事務室等を賃貸

#### ・物販・飲食・サービス店舗との関係

ターミナルビル会社が直営店舗を出店する場合や、航空関連会社などのテナントへ店舗、事務室を賃貸。但し、構内営業の承認等が必要

## (2) 当社の沿革

羽田空港は1952(昭和27)年に米国から返還され、わが国の空の玄関として再発足することになりましたが、戦後の財政窮乏のため、国家予算としては誘導路およびエプロンの舗装費用のみが計上されました。このような状況の下、**政府は民間資本によりターミナルを建設することを決定し**(閣議了解事項)、**財界主要企業の協力により** 1953(昭和28)年に**当社が設立され**(資本金 1億5千万円)、1955(昭和30)年5月にターミナルの供用を開始しました。

1953(昭28)年 7月 資本金1億5千万円をもって民間資本により設立、  
直ちにターミナルビル計画に着手

1955(昭30)年 5月 **ターミナルビル開館、営業開始**

1964(昭39)年 4月 東京オリンピック開催に伴う国内線到着専用ターミナルビル工事竣工

10月 免税品販売業開始

1970(昭45)年 5月 新国際線到着ターミナルビル工事竣工

1978(昭53)年 3月 成田空港に成田営業所開設

5月 成田空港開港に伴い免税店等での物品販売、ホテル斡旋等開始

1990(平 2)年 2月 東京証券取引所市場第二部に上場

7月 羽田空港第1(西)旅客ターミナルビル起工式挙行

1991(平 3)年 9月 東京証券取引所市場第一部に上場

1993(平 5)年 9月 **羽田空港第1旅客ターミナルビル(ビッグバード)供用開始**

1994(平 6)年 7月 関西空港に大阪事業所(現大阪営業所)開設

9月 関西空港開港に伴い免税店運營業務受託、免税品の卸売等開始

1998(平10)年 3月 **羽田空港暫定国際線旅客ターミナルビル供用開始**

2001(平13)年 2月 羽田空港国際線旅客チャーター便就航

12月 羽田空港第2(東)旅客ターミナルビル安全祈願祭挙行

2002(平14)年 4月 羽田空港国際線定期便運航終了(チャイエアライン、エバー航空 成田移転)

5月 羽田空港 暫定国際線旅客ターミナルビル増改築工事竣工

2003(平15)年11月 羽田⇄金浦国際線旅客チャーター便就航

2004(平16)年12月 **羽田空港第2旅客ターミナルビル供用開始**

羽田空港第1旅客ターミナルビルリニューアル工事開始

2005(平17)年 2月 中部空港開港に伴い中部営業所開設

中部空港開港に伴い免税品の卸売開始

9月 羽田空港第2旅客ターミナルビル増築工事Ⅰ着手

2006(平18)年 4月 東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運營業業へ参画

6月 特別目的会社(SPC)「東京国際空港ターミナル株式会社」へ出資

2007(平19)年 2月 **羽田空港第2旅客ターミナルビル南ピア供用開始**

2007(平19)年 9月 羽田⇄上海(虹橋)国際線旅客チャーター便就航



開館当時の羽田空港旅客ターミナルビル



羽田空港第1旅客ターミナルビル



羽田空港第2旅客ターミナルビル

## (3) 各空港における当社グループ事業展開

### 羽田空港（東京国際空港）

#### 第1旅客ターミナル（経営面積 292,400㎡）



1993. 9. 27 供用開始

- ◇ 建物の所有、  
管理運営
- ◇ 不動産賃貸
- ◇ 物品販売  
(直営)
- ◇ 飲食サービス  
(直営)
- ◇ 旅客サービス

#### 国際線旅客ターミナル（経営面積 8,100㎡）



#### 第2旅客ターミナル（経営面積 205,200㎡）

将来対応部含む



2004. 12. 1 供用開始 2007. 2. 15 南ピア供用開始

#### 駐 車 場



- ◇ 駐車場の管理運営（合計 2,911台）
  - ・ P 1 駐車場（国内線 2,351台）
  - ・ P 4 駐車場（国内線 433台）
  - ・ P 5 駐車場（国際線 107台）

### 成田国際空港



- ◇ 物品販売(免税店ほか)
- ◇ 卸売(免税品、一般品)
- ◇ 飲食サービス ◇ 旅客サービス
- ◇ 機内食製造・販売

### 関西国際空港

1994. 9. 4 開港



- ◇ 免税店運営業務受託
- ◇ 物品販売
- ◇ 卸売

### 中部国際空港

2005. 2. 17 開港



- ◇ 卸売

## (4) グループ企業 (17社)

## 日本空港ビルディング(株)

## 施設管理運営業 (7社)

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| (保守管理)・(株)エアポートマックス | 清掃、園芸管理業務ほか             |
| ・日本空港テクノ(株)         | 空港ターミナル施設等の設備保守管理       |
| ・羽田エアポートセキュリティー(株)  | 警備業務運営                  |
| ・(株)櫻商会             | エアポートクリーンセンター、廃棄物処理     |
| (サービス)・(株)ビッグウイング   | 広告・イベントの企画運営ほか          |
| ・羽田旅客サービス(株)        | 旅客サービス業務運営              |
| ・(株)ヒロインターナショナル     | 羽田空港内における有料待合室・会議室の運営ほか |

## 物品販売業 (6社)

- |                     |                              |
|---------------------|------------------------------|
| ・国際協商(株)            | 全国各空港売店等への一般品・保税品の卸売業および物品販売 |
| ・(株)日本空港ロジテム        | ロジスティクス(商品の運送、検品等)           |
| ・(株)羽田エアポートエンタープライズ | 羽田空港における店舗運営業務               |
| ・(株)成田エアポートエンタープライズ | 成田国際空港における店舗運営業務             |
| ・(株)浜 眞             | 海産物の卸売業及び小売業                 |
| ・(株)アイティエス          | ゲーム機・遊戯機等の娯楽機械の設置営業          |

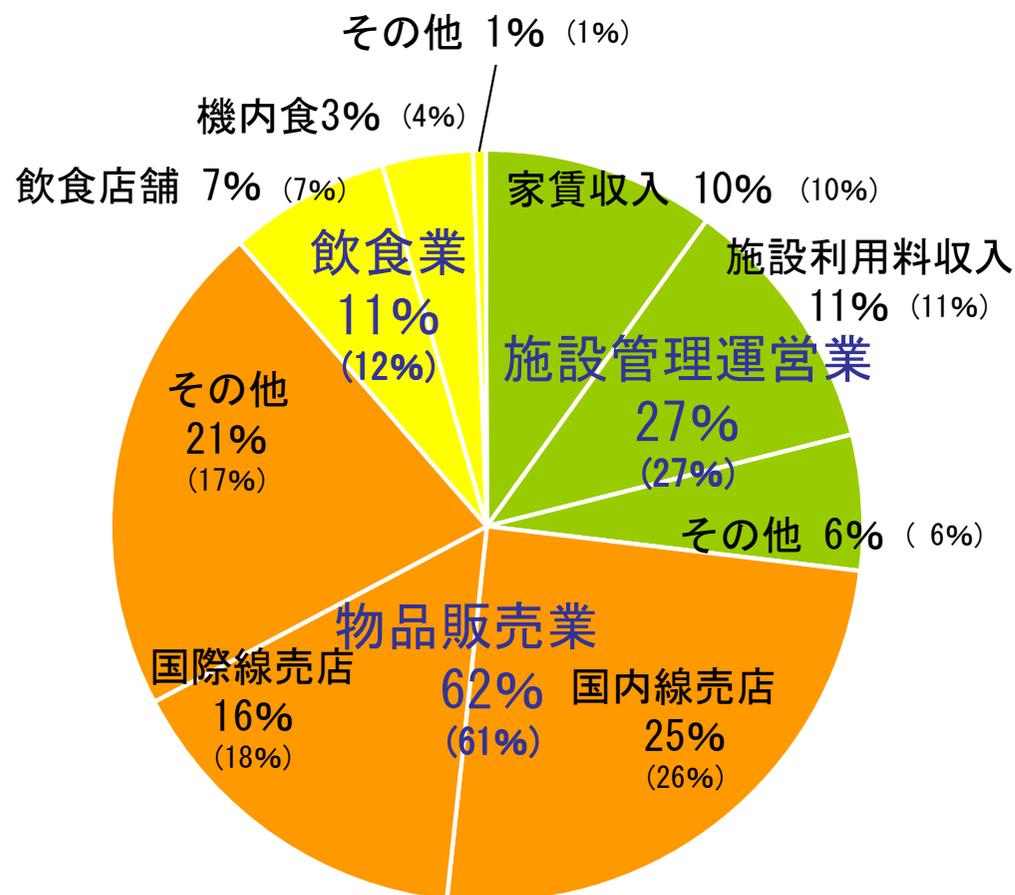
## 飲食業 (4社)

- |                  |  |
|------------------|--|
| ・東京エアポートレストラン(株) | 羽田空港および成田国際空港内における飲食店業、軽食の製造販売   |
| ・コスモ企業(株)        | 成田国際空港内におけるアメリカン航空、ブリティッシュ・エアウェイズ、シンガポール航空、キャセイ航空、チャイナエアライン、ヴァージンアトランティック航空等の外国航空会社への機内食ケータリング、冷凍食品の製造ほか |
| ・(株)シー・ティ・ティ     | 航空機内用品および食器類の洗浄ほか  |
| ・会館開発(株)         | 飲食施設の運営、宿泊・ホール・会議室の管理運営ほか  |

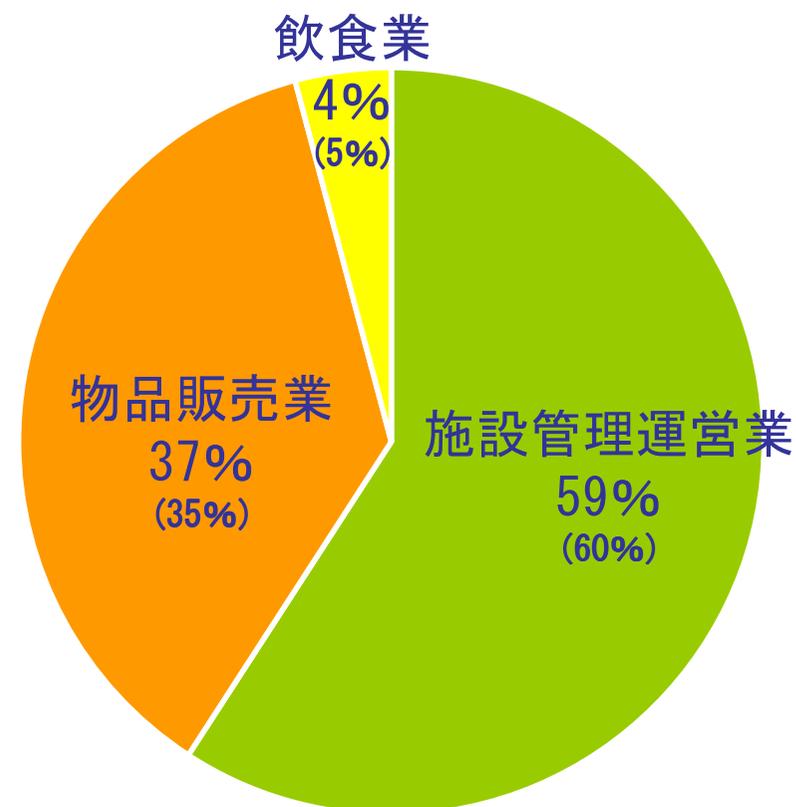
※ 平成19年4月、警備業務運営の専門子会社として羽田エアポートセキュリティー株式会社(資本金50百万円 出資比率100.0%)、及び旅客サービス業務運営の専門子会社として羽田旅客サービス株式会社(資本金50百万円 出資比率100.0%)を設立いたしました。両社は平成19年7月に業務受託を開始しております。

## (5) 当社グループの事業構造(連結・セグメント別/2007年9月期実績)

【売上高の構成比】



【営業利益(償却前)の構成比】



※ ( )内は 2006.9期実績

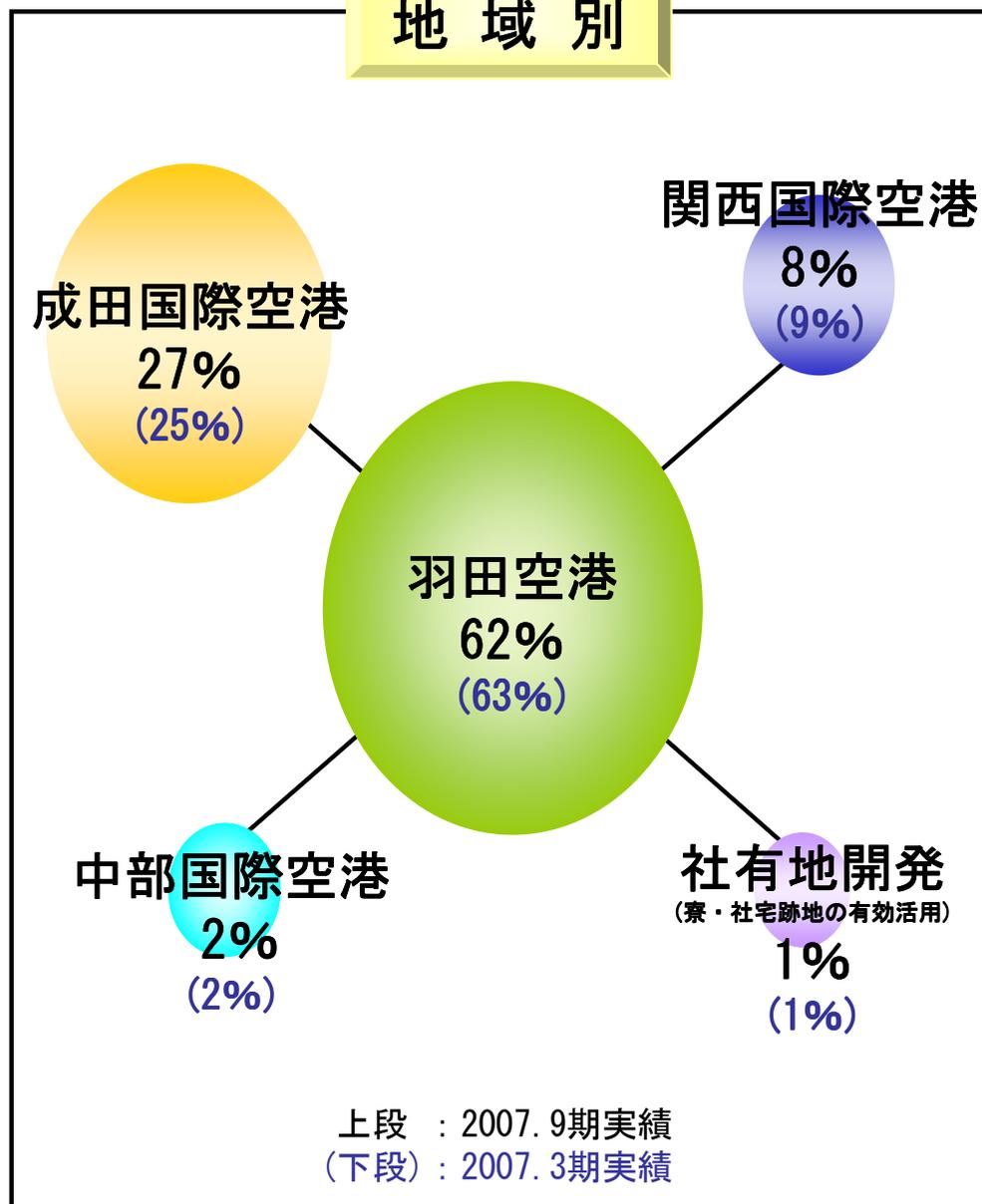
## (6) 当社の収益構造 (連結・セグメント別)

区 分		主 な 売 上 内 容	主 な 費 用 内 容
施設管理運営業	家賃収入	事務室家賃(定額家賃)、店舗家賃(定額家賃+歩合料金)	減価償却費、水道光熱費、修繕費、 賃借料(国有財産使用料等)、租税公課 清掃費、業務委託費
	施設利用料収入	航空会社国内線共用施設利用料 旅客施設使用料(国内線:PFC, 国際線:PSFC)	
	その他	駐車料収入、広告料収入、 有料待合室「エアポートラウンジ」売上、請負工事収入	
物品販売業	国内線売店	羽田空港内店舗での商品売上	商品売上原価、消耗品費
	国際線売店	羽田空港免税店の商品売上 成田国際空港免税店等の商品売上	商品売上原価、消耗品費、営業歩合
	その他	成田国際空港、関西国際空港、中部国際空港等への卸売上	商品売上原価
飲食業	飲食店舗	羽田空港、成田国際空港内飲食店舗売上	食材費(飲食売上原価)、営業歩合
	機内食	機内食の製造・販売	食材費(飲食売上原価)
	その他	冷凍食品、弁当等の卸売上	食材費(飲食売上原価)

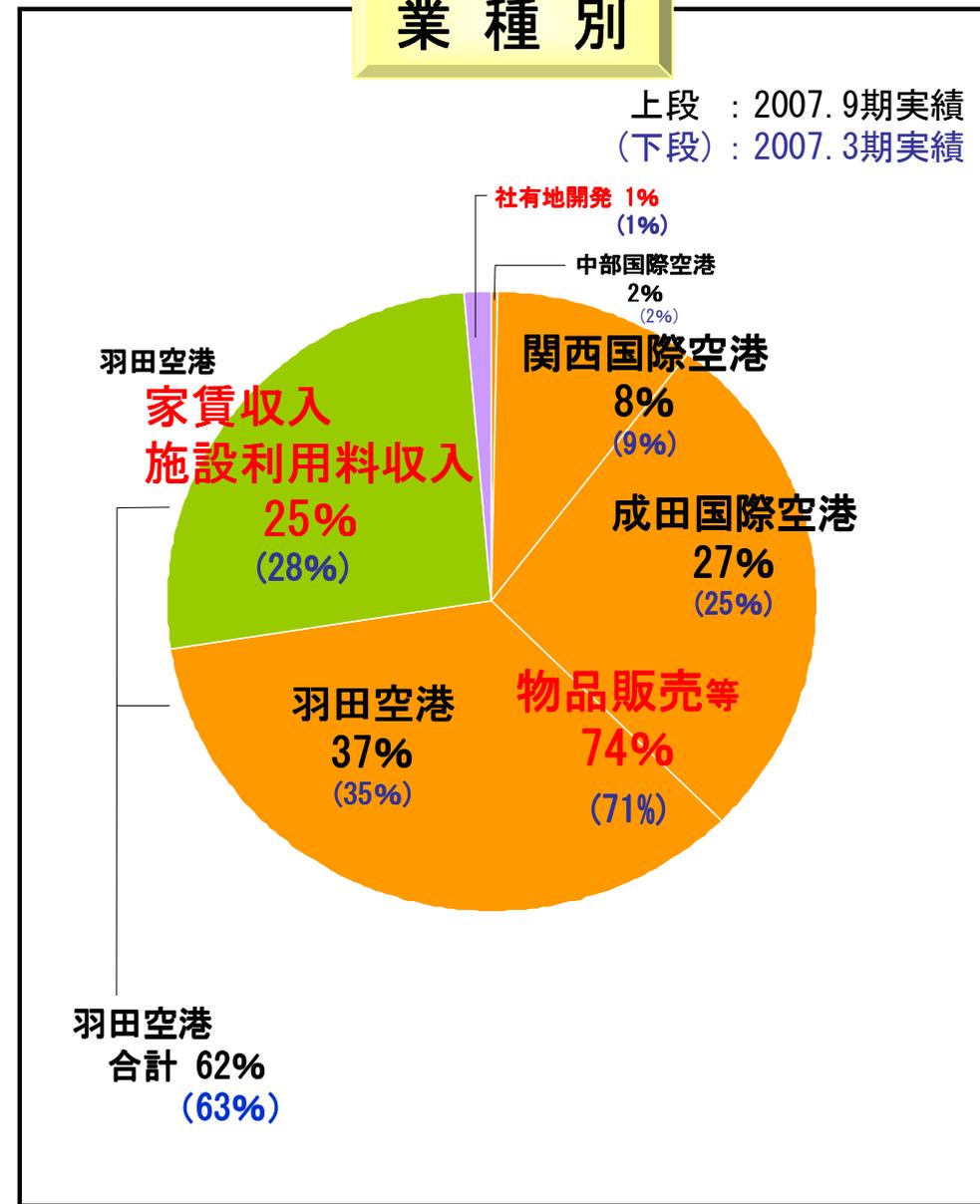
収益の変動要因・・・航空業界を取り巻く環境 (国内線及び国際線航空旅客数の変動など)  
国の施策等 (国や行政当局の空港運営方針や国有財産使用料の改定・制度変更など)

## (7) 地域別・業種別の売上構成 (単体)

## 地域別



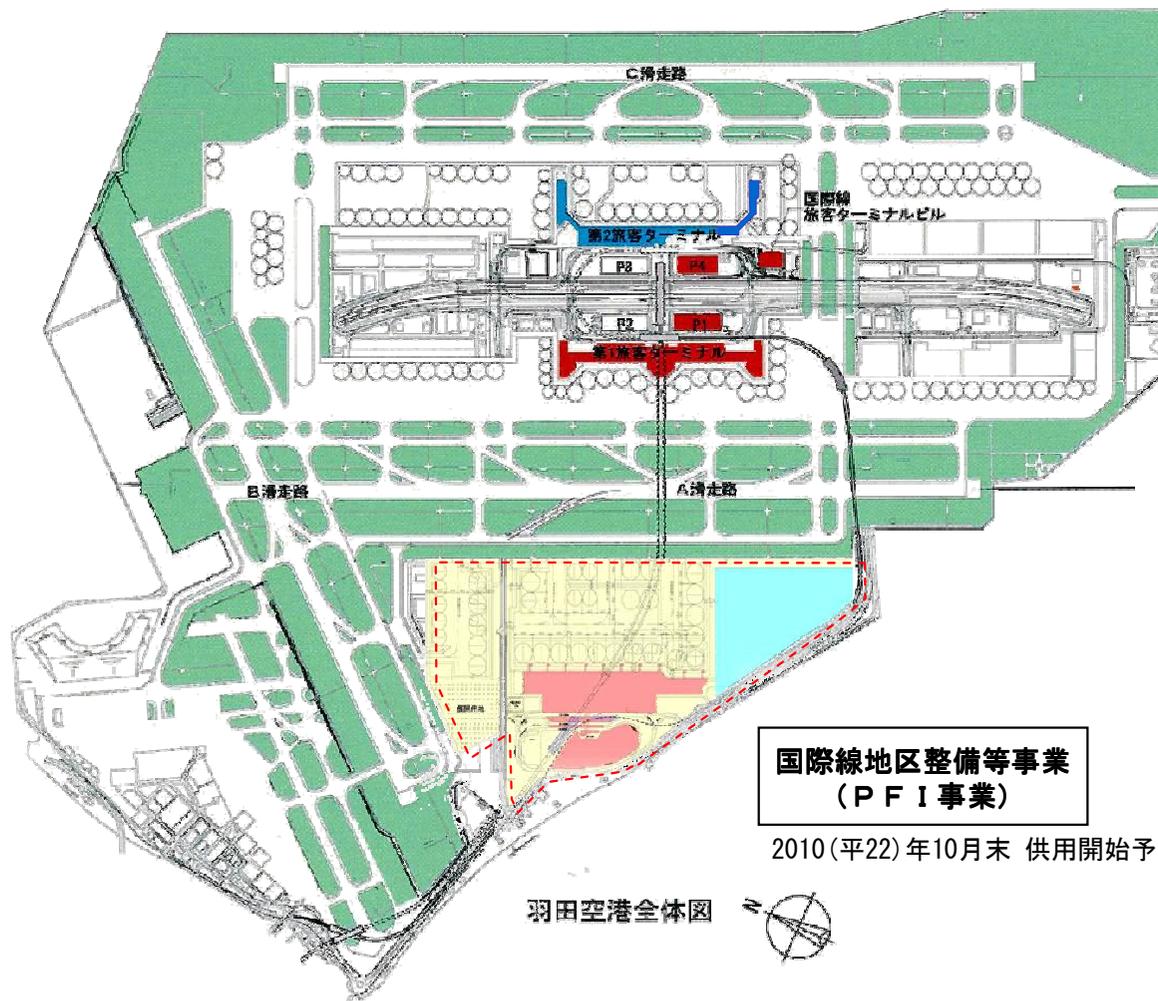
## 業種別



# Ⅱ. 東京国際空港再拡張事業への取組み



## (1) 東京国際空港再拡張事業



### 滑走路整備事業

2006(平18)年度 着工  
2010(平22)年10月末  
供用開始予定

新滑走路 (2,500m)

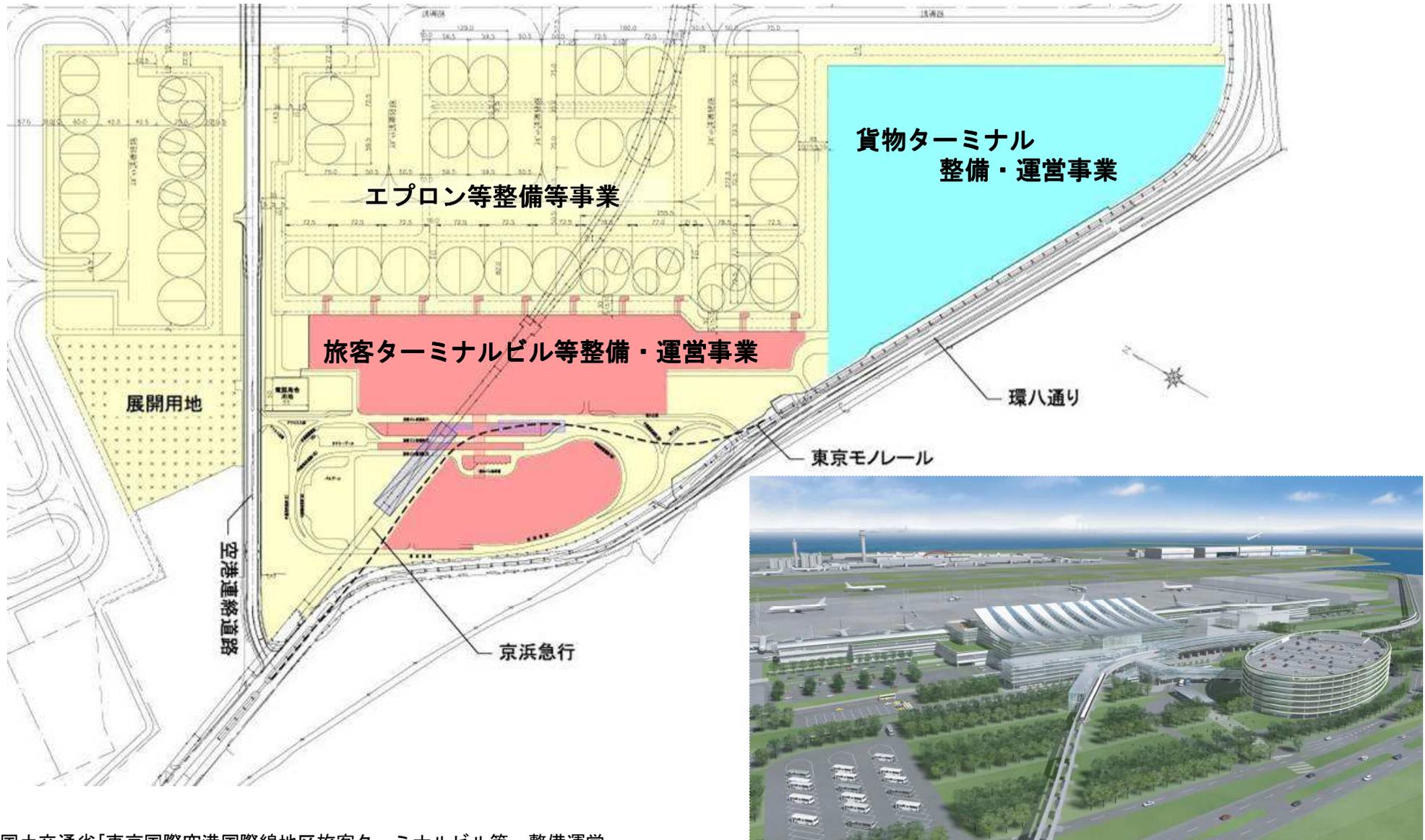
再拡張により発着容量が1.4倍増加

〔 現 行 〕 (2005.10.1~)  
29.6万回/年  
《 810回/日に相当 》

《 11.1万回 /年 (304回/日に相当) 増加 》  
国際線 3万回程度  
国内線 8万回

〔再拡張後〕  
40.7万回/年  
《 1,114回/日に相当 》

## (2) 東京国際空港国際線地区整備等事業 (事業別整備範囲図)



※ 国土交通省「東京国際空港国際線地区旅客ターミナルビル等・整備運営事業募集要項」等を基に当社作成

多摩川方面から見た国際線新旅客ターミナルイメージ図

### (3) S P C 「東京国際空港ターミナル株式会社」設立

国により進められております「国際線地区旅客ターミナルビル等整備・運営事業」において、昨年6月に当社及び航空会社をはじめとする構成企業の共同出資により、S P C (特別目的会社)「東京国際空港ターミナル株式会社」(略称：T I A T)を設立いたしました。現在、同社においては、「実施設計」が終了し、施工業者の選定を行っている段階です。当社は、今後、平成22年10月に予定されている国際線旅客ターミナルビル等供用開始に向けて同社の業務を適切に支援してまいります。



商 号：東京国際空港ターミナル株式会社  
(英文：Tokyo International Air Terminal Corporation)

代 表 者：代表取締役社長 霜田 明彦

本店所在地：東京都千代田区

設立年月日：2006(平成18)年6月20日

事業の内容：東京国際空港国際線地区旅客ターミナル等  
整備・運営事業

出資される財産の価額：90億円

株 主：日本空港ビルデング株式会社  
株式会社日本航空、全日本空輸株式会社  
成田国際空港株式会社、東京電力株式会社  
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ  
セコム株式会社、東京瓦斯株式会社  
京浜急行電鉄株式会社、東京モノレール株式会社  
日本政策投資銀行、株式会社みずほコーポレート銀行  
株式会社三菱東京U F J銀行

#### 今後のスケジュール

(国土交通省発表資料等に基づく)

2006(平18)年 7月

国と事業契約の締結

2008(平20)年 5月頃着工(予定)

⋮

2010(平22)年10月末

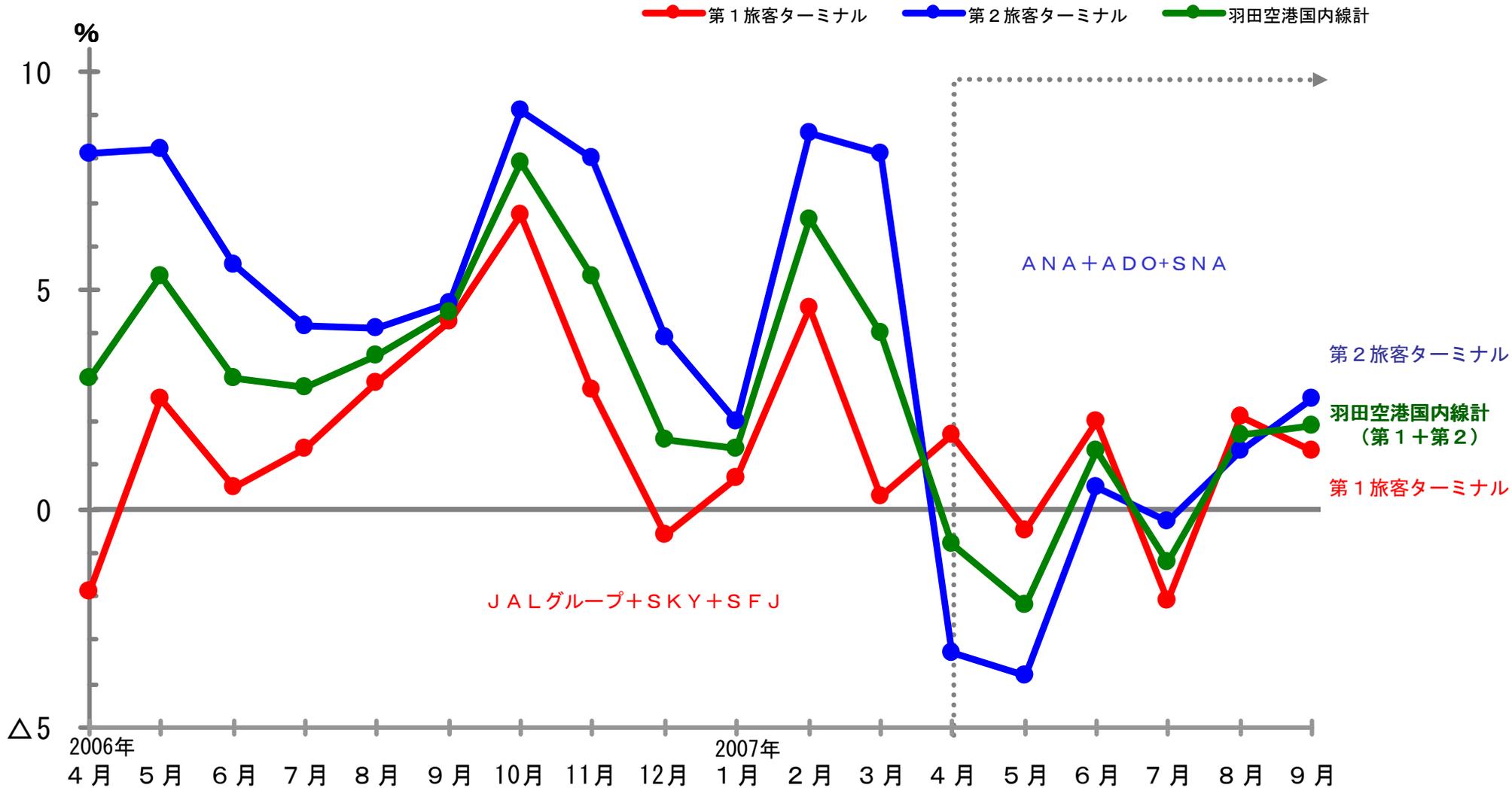
対象施設の供用開始

# Ⅲ. 国内線・国際線航空旅客数の推移



## 航空旅客数の推移（対前年増減率）

### （１）羽田空港（国内線）

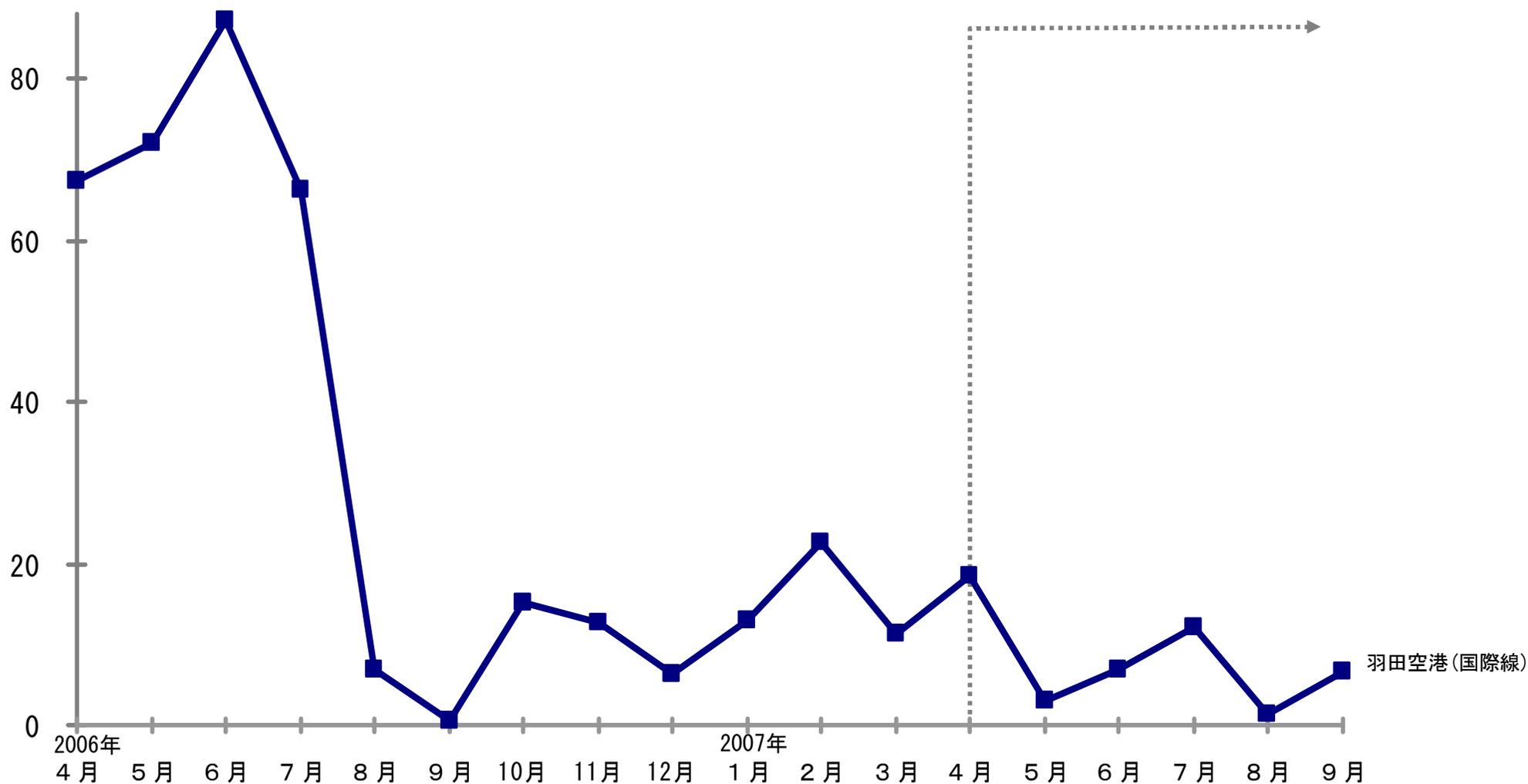


(注) 1. 旅客数：国土交通省、各航空会社資料より。  
 2. 第1旅客ターミナル：JALグループ、SKY、SFJ (2006年3月16日～)  
 第2旅客ターミナル：ANA、ADO、SNA (2006年4月1日1ビルより移転)

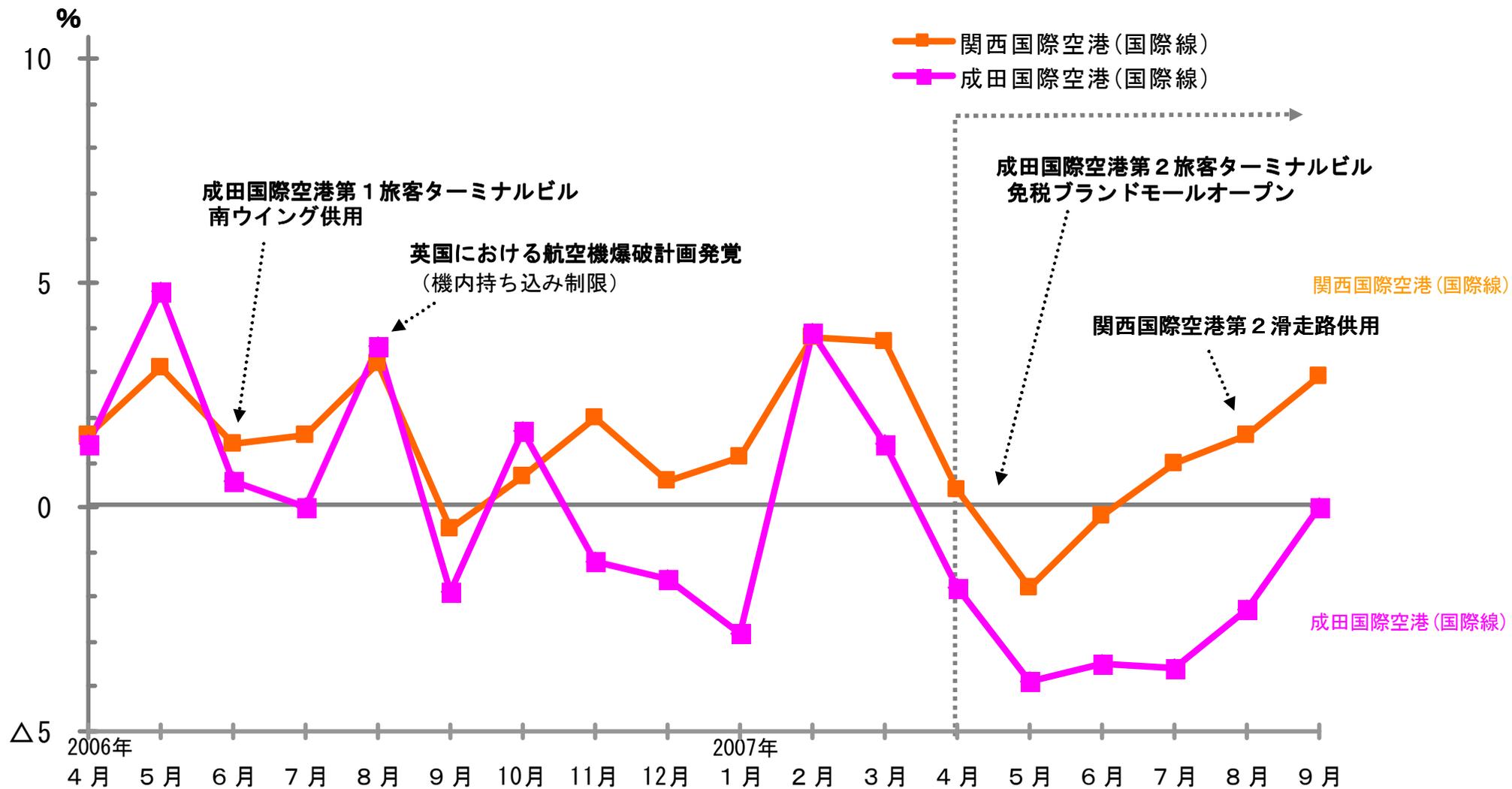
## (2) 羽田空港（国際線）

- ・ 2003年11月30日～ 羽田＝金浦（ソウル）間 国際旅客チャーター便運航開始（1日4便）  
2005年8月1日～ 4便増便（1日8便）

％ ・ 2007年9月29日～ 羽田＝虹橋（上海）間 国際旅客チャーター便運航開始（1日4便）



(3) 成田国際空港、関西国際空港（国際線）



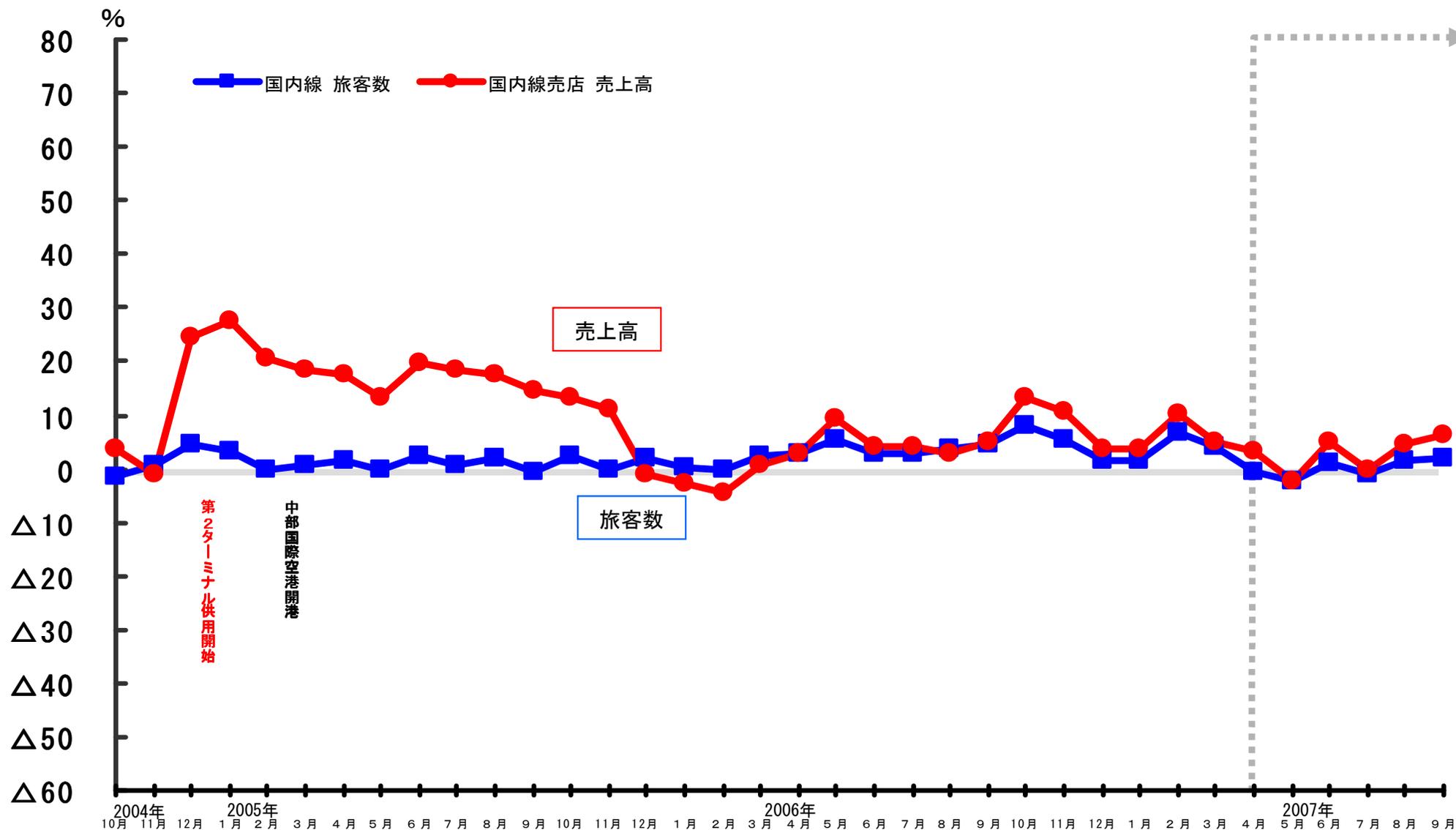
(注) 1. 成田国際空港：成田国際空港株式会社広報資料より。  
2. 関西国際空港：関西国際空港株式会社広報資料より。

# IV. 月別売上高推移（物販・飲食）



## 国内線売店 月別売上高推移

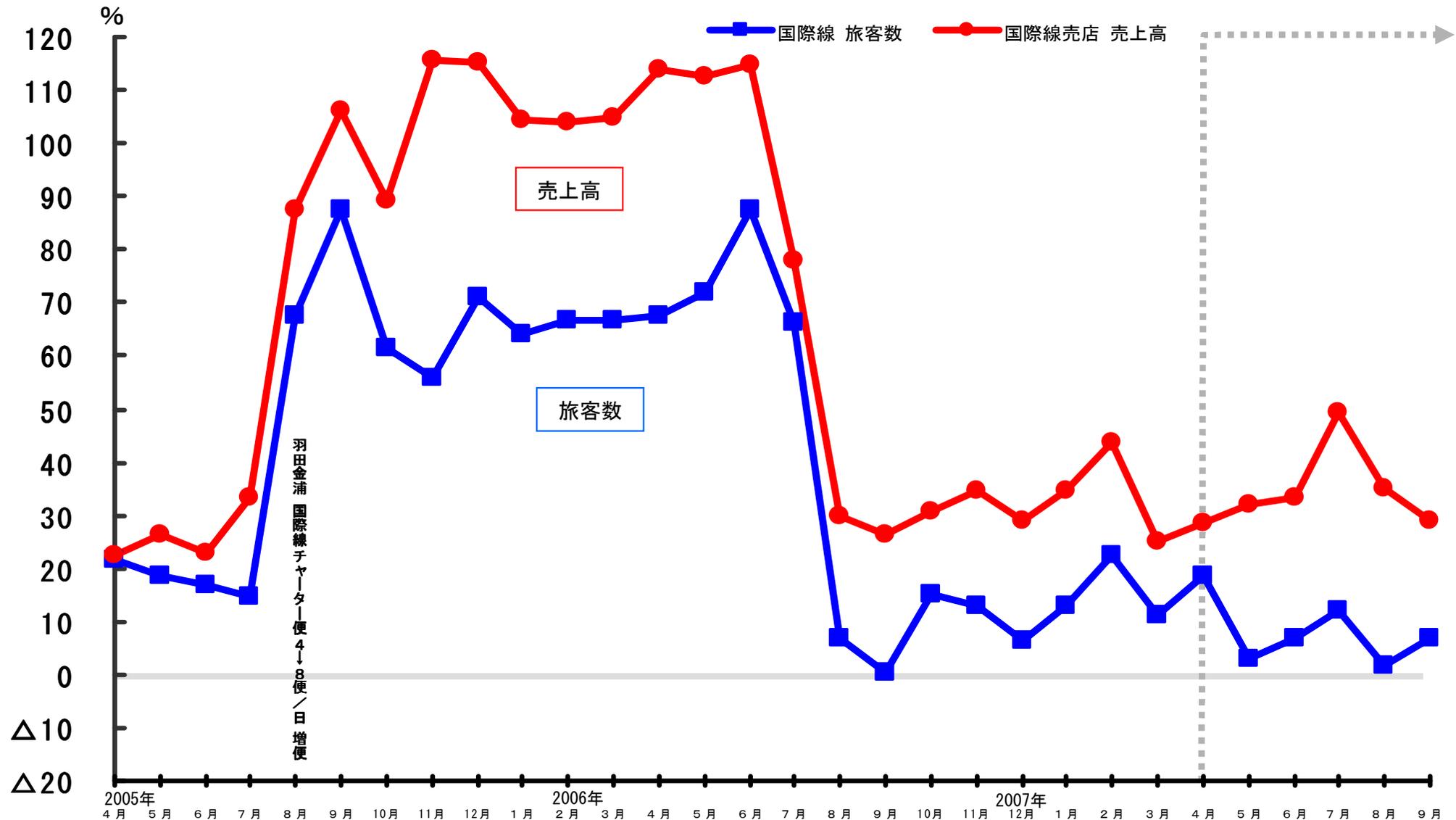
### ■ 羽田空港（対前年増減率）



(注) 旅客数…国土交通省資料

# 国際線売店 月別売上高推移

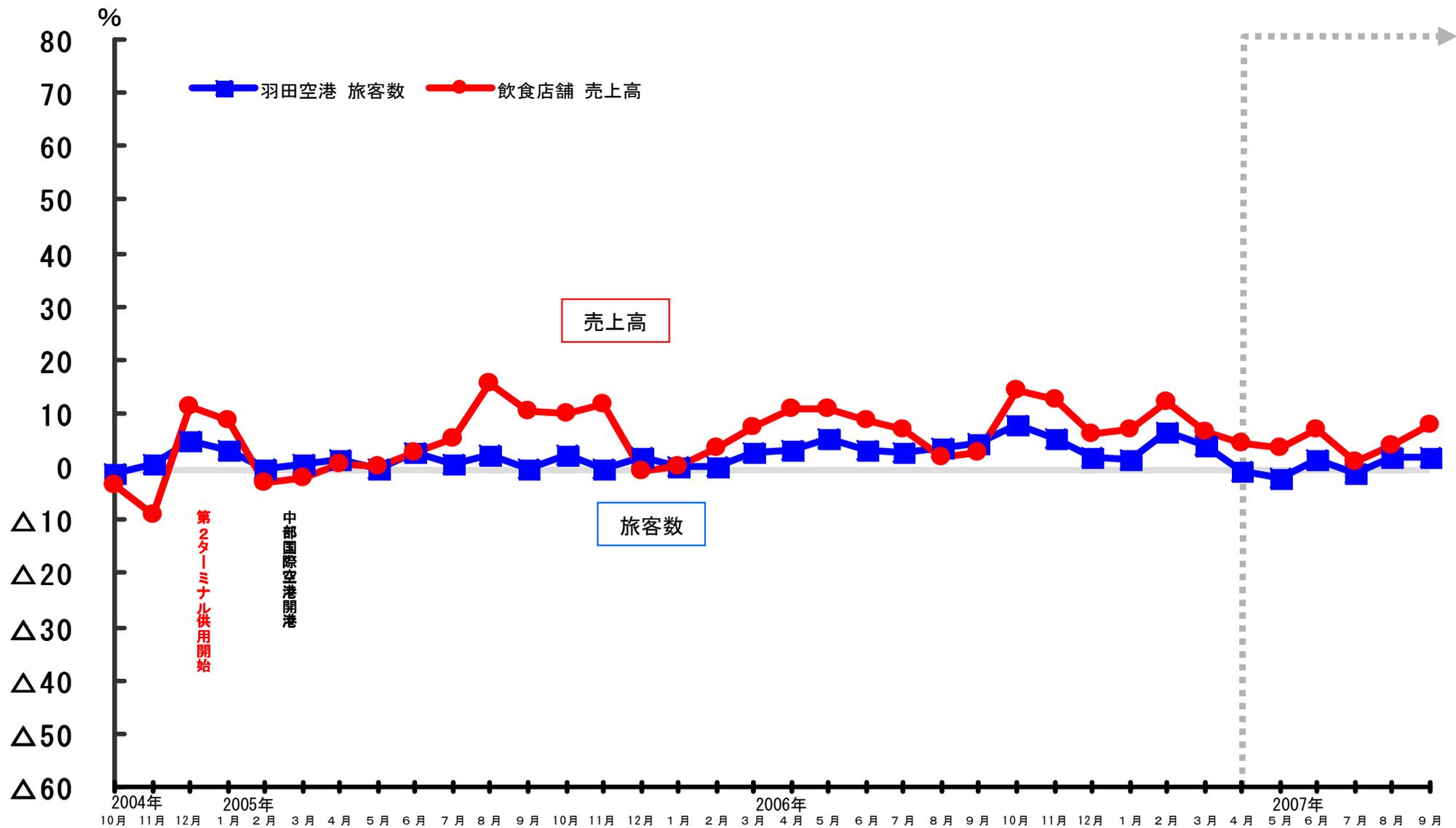
## ■ 羽田空港 (対前年増減率)



(注) 旅客数…国土交通省資料

## 羽田飲食店舗 月別売上高推移

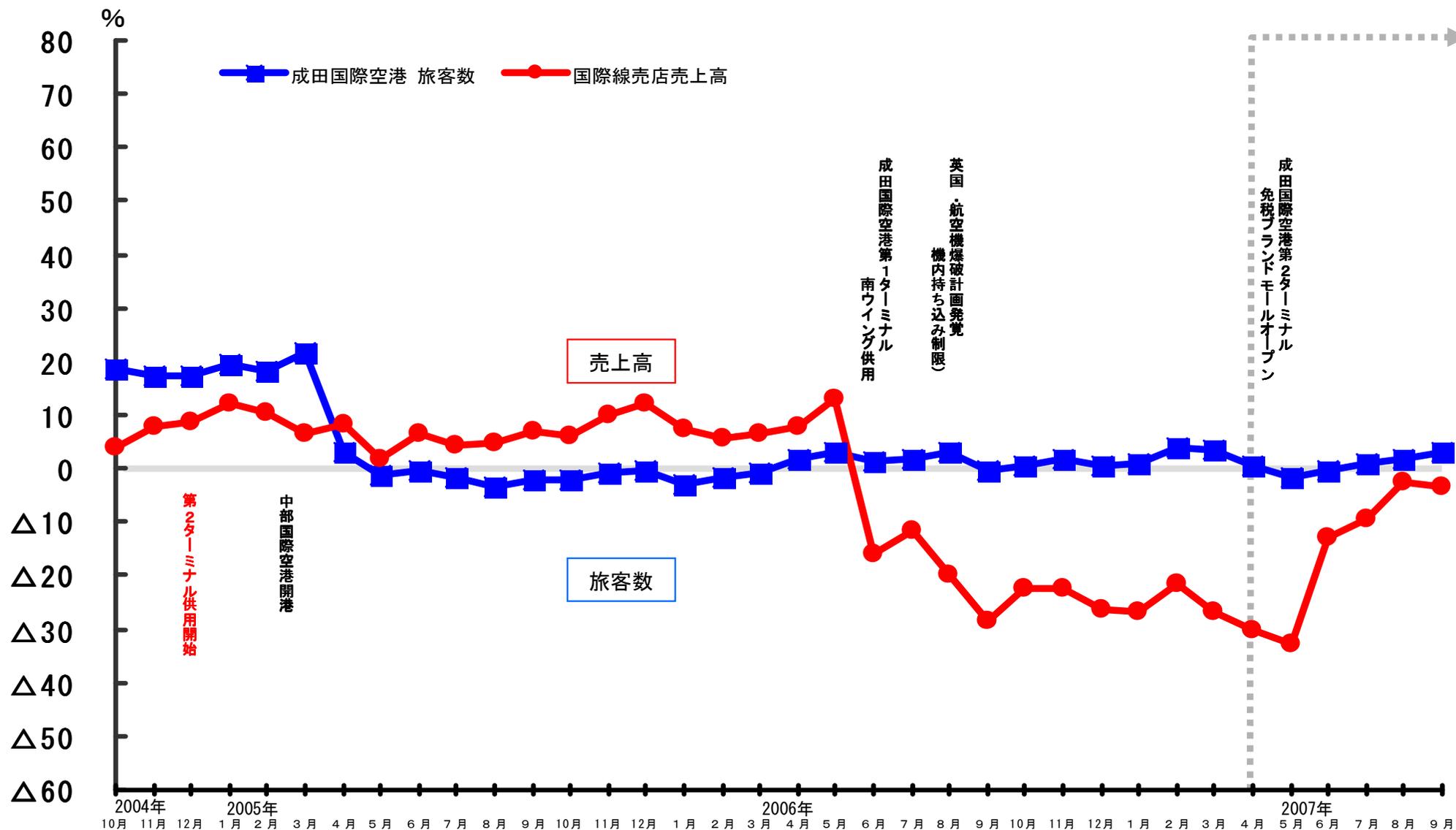
## ■ 羽田空港（対前年増減率）



(注) 旅客数…国土交通省資料

## 国際線売店 月別売上高推移

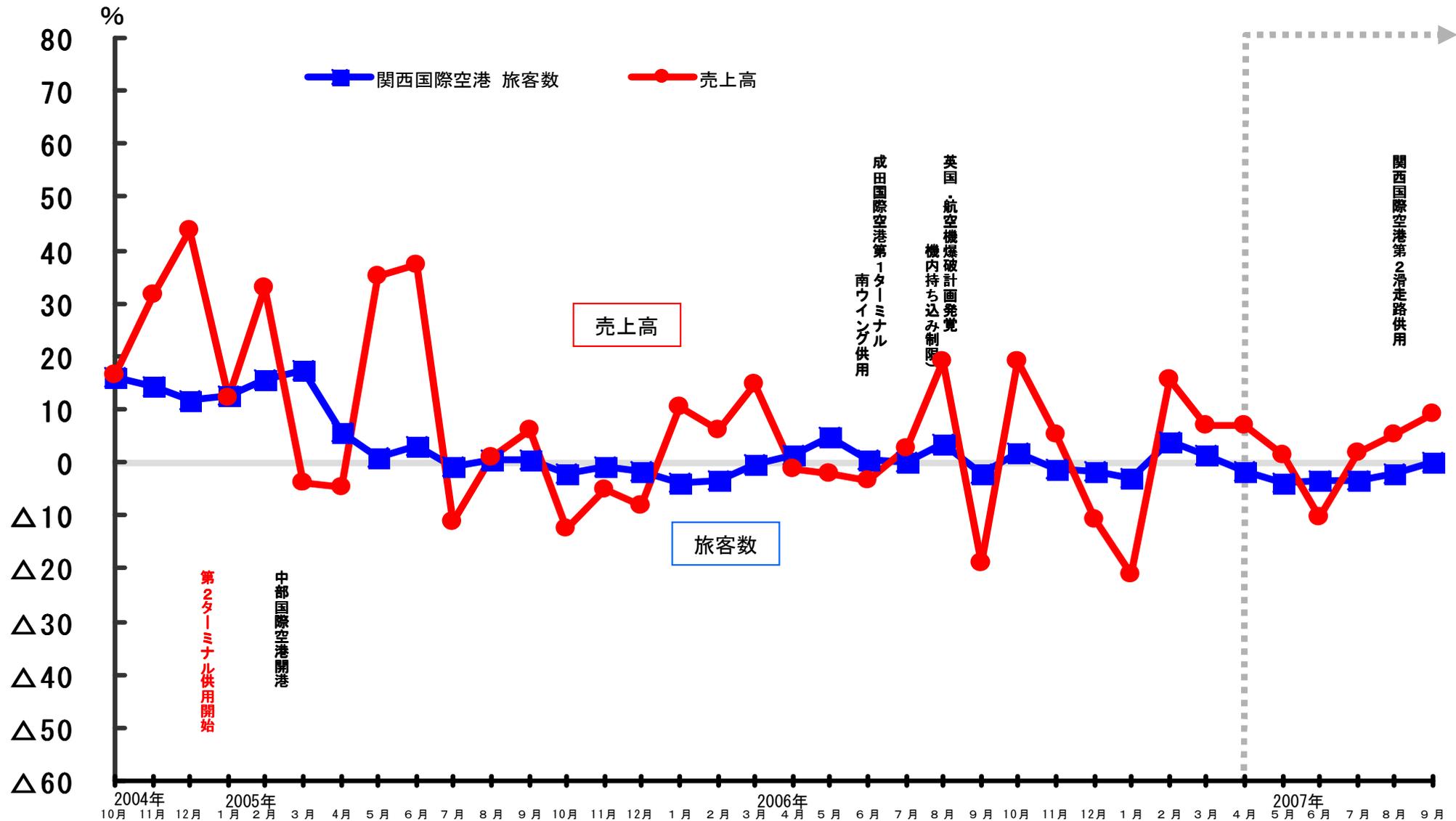
## ■ 成田国際空港 (対前年増減率)



(注) 旅客数…成田国際空港株式会社広報資料  
売上高…当社直営免税店売上高

## 国際線売店 月別売上高推移

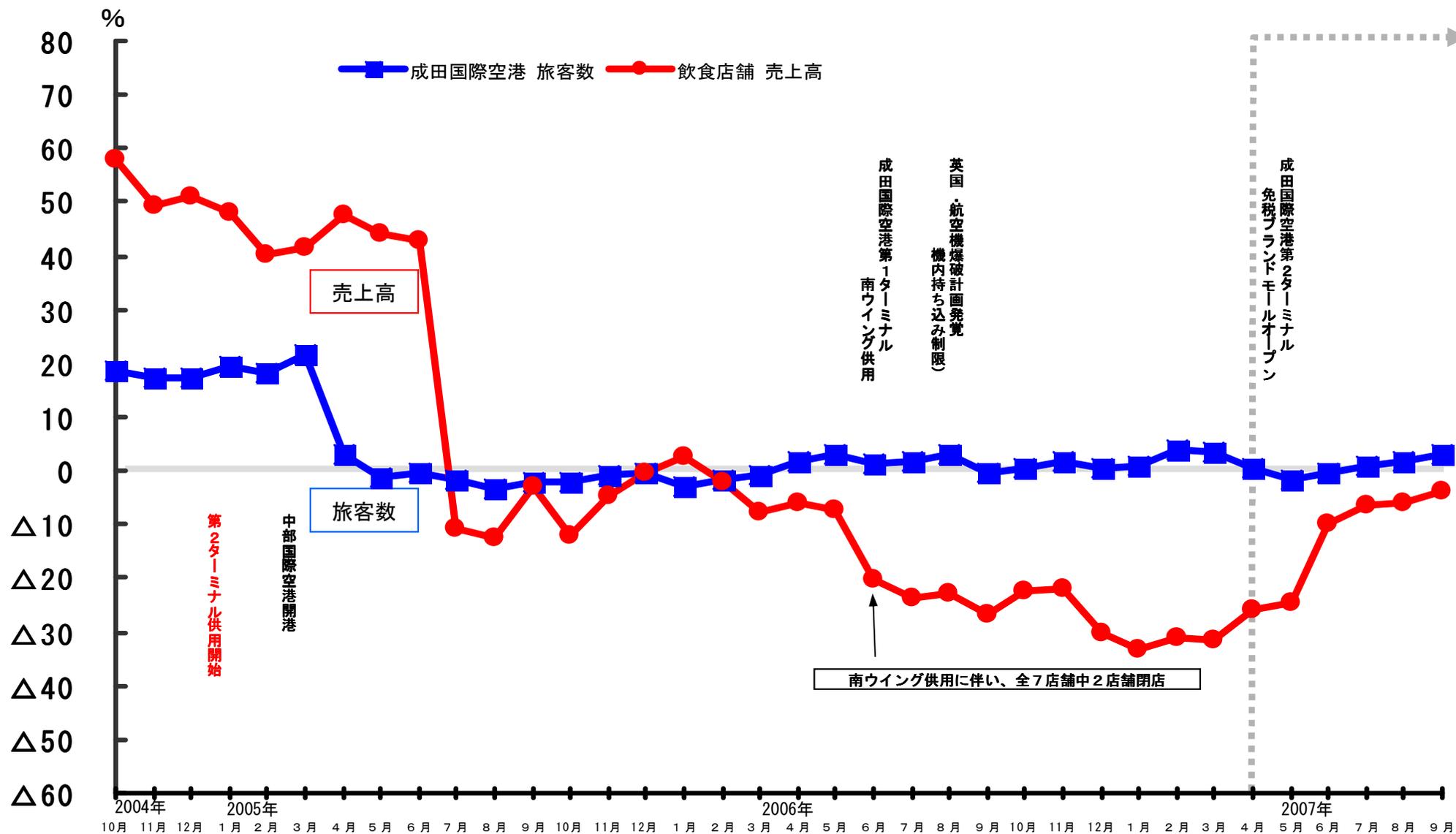
## ■ 関西国際空港 (対前年増減率)



(注) 旅客数…関西国際空港株式会社広報資料

# 成田飲食店舗 月別売上高推移

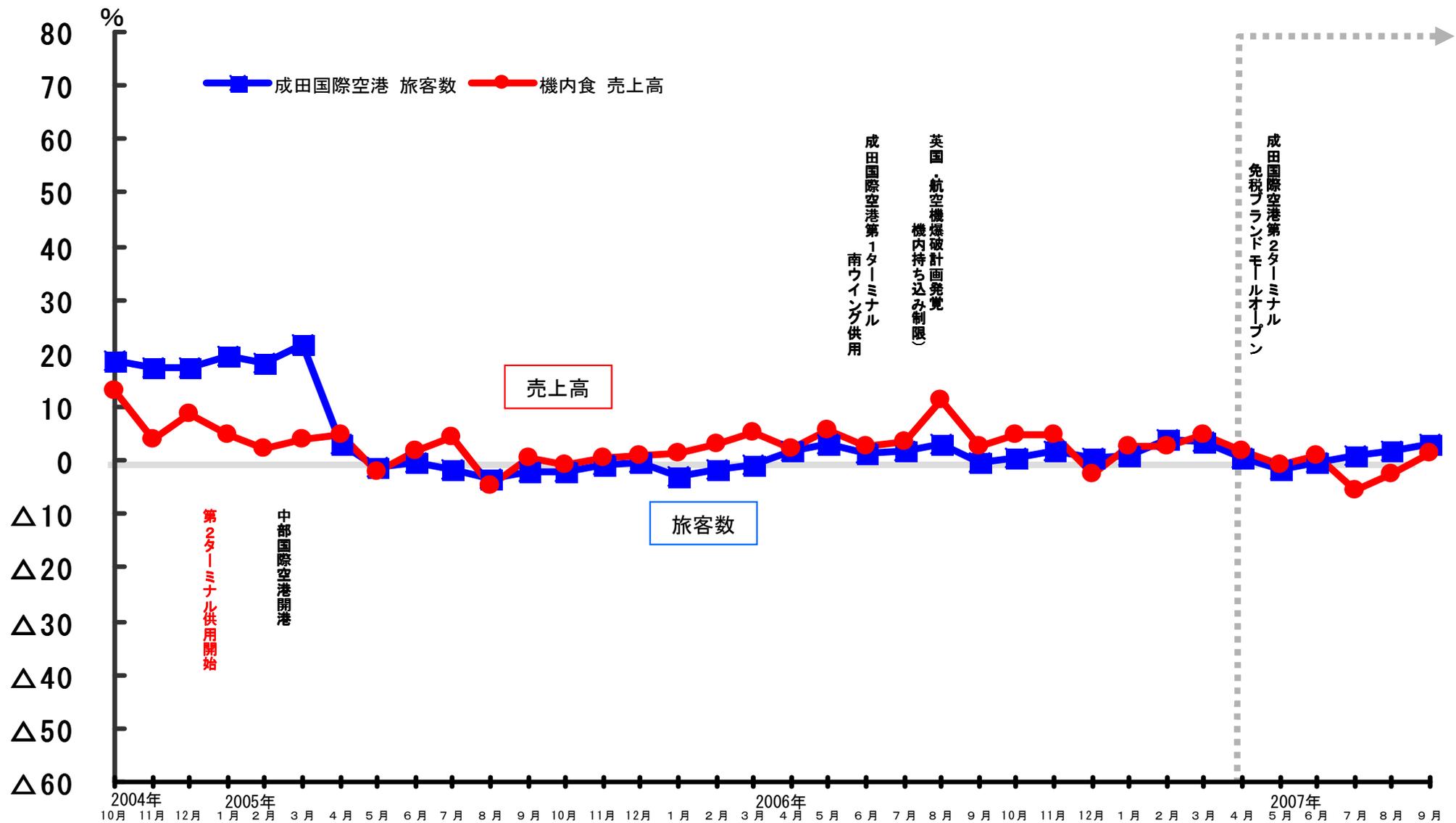
## ■ 成田国際空港 (対前年増減率)



(注) 旅客数・・・成田国際空港株式会社広報資料

# 機内食 月別売上高推移

## ■ 成田国際空港 (対前年増減率)



(注) 旅客数・・・成田国際空港株式会社広報資料

## 将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている、弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは、弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提（仮定）等を基礎としています。これらの実現についてはさまざまな要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

## お 問 い 合 せ 先

### 日本空港ビルディング株式会社 経営企画室



TEL : 03 (5757) 8025

FAX : 03 (5757) 8029

E-MAIL : ir@jat-co.com